LifeView

USB 2.0接続ソフトウェアエンコーダー
アナログ地上波テレビチューナー/ビデオキャプチャユニット

型番: NV-UT202

ユーザーズマニュアル

User's Manual

Rev. 1.0/ 2004年7月

⚠ 【安全に正しくお使いいただくために】

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項に従って、正しく安全にお使いください。

――― 警告・注意 ―――

けがの恐れがあります。

- 落下、不用意な接触などに十分注意してください。製品には尖った部分があります。
  足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつかるなどすると、けがの原因となります。
  不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理して下さい。
- コネクタなどの接続や、ディスクなどの装着などには十分注意してください。インターフェースカードの接続部、コネクタやディスクの開閉部などには鋭利な部分があります。装着時の不用意なけがなどには十分注意して下さい。
- ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- 直射日光のあたる場所、強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。
  火災の恐れがあります。

感電・けが・失明・やけどの恐れがあります。

- 落下などにより損傷した場合や、移動などに際しケーブルに傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止して下さい。また、破損部分や内部には手など触れないようにして下さい。
- 分解しないで下さい。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い所、水中などで使用しないで下さい。感電などの恐れがあります。
- 長時間使用すると、本体、とくに金属端子部分が熱くなります。本体を持ったままお使いにならないで下さい。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- 添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。

ソフトウェア保証規定（使用許諾書）

本書は、お客様が本製品（プログラム･マニュアル･その他本製品添付資料を含み、以下「許諾プログラム」といいます）の使用者であることを証明し、かつ弊社との使用許諾契約書に同意いただいた証明として大切に保管して下さい。

1. 許諾プログラムは、お客様ご自身が所有する単一のコンピュータシステムにおいて、これに読み込み可能な形式にてご使用下さい。
2. 許諾プログラムの複写･複製を禁止いたします。
3. 弊社の事前の文書による承諾なくして、第三者に許諾プログラムの貸与もしくはその他の方法で使用させないものとします。
4. 弊社の事前の文書による承諾無くして、許諾プログラムの変更または改造を行なわないものとします。
5. 許諾プログラムをレンタルなどの賃貸業に使用できません。
6. 許諾プログラムの使用に起因して、お客様が被る直接ならびに間接損害に関して、弊社はいかなる責任も負いません。
7. お客様が前記各条項を守っている限り、弊社は許諾プログラムに対し次のサービスをいたします。
   1) お客様からの電話または文書によるお問い合わせに対してサポートいたします。
   2) 許諾プログラムの媒体（CD-ROMなど）の破損事故を起こしたとき、有償で同一の新しい媒体を再提供いたします。
8. 上記1から6のいずれかの条項に違反する行為があったとき、著作権法等関連法令による法律上の制裁をうけることがあります。

ご注意

1. 本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしておりますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
3. 本ソフトウェアおよび本書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※ LifeViewはAnimation Technologies, Inc.の商標です。
※ DivXは米国DivXNetworks社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
※ iモード、FOMA/フォーマ、iモーション/アイモーションは株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。
※ UleadおよびUlead Video ToolBox、Ulead VideoStudioは、台湾Ulead Systems, Inc. の登録商標または商標です。
※ Windows、DirectX、DirectShowは米国Microsoft社の登録商標または商標です。
※ その他、本書に記載されている会社名･製品名は各社の商標または登録商標です。
※ 本書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。
※ 本書の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載、または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

警告：他者の著作物や録音・録画物を、私的な目的以外で著作権者および他の権利者の許諾を得ずに複製することは、著作権法および国際条約の規定等により禁止されています。また私的な目的で作成した複製物であっても、他者の著作物や録音物の複製物を、著作権者およびその他の権利者の許諾を得ずに配信が可能な状態にすることは一切禁止されております。株式会社ノバックでは、この製品が上記注意事項を遵守されずに使用された場合、一切の責任を負わないこととします。

もくじ

micro CATCH TV 3 のご紹介.....4

第1章　準備.....5
1.1 **パッケージの内容**.....5
1.2 **仕様/動作条件**.....6
1.3 **接続例**.....7
1.4 **お取り扱いについてのご注意**.....8

第2章　接続とインストール.....9
2.1**ドライバのセットアップと接続についての注意事項**.....9
2.2.1 Windows XP**へのインストール**.....9
2.2.2 micro CATCH TV 3**のパソコンへの接続～認識**.....13
2.2.3 **接続後のセットアップ手順（**WindowsXP**）**.....14
2.3 **ドライバのアンインストール**.....16

第3章　Ulead Video @ Home 2.....17
3.1 Ulead Video@Home 2.0**について**.....17
3.2 **インストール手順**.....17
3.3 Ulead Video@Home **の実行**.....19
3.4 **作業領域について**.....20
3.5 **カスタム設定**.....23
環境設定.....23
予約録画.....25
ビデオカラーマネージャ.....29
TV **チャンネルの管理**.....29
3.6 TV**の視聴**.....30
ビデオデッキやその他のアナログビデオソースからビデオを見る.....30
再生リストからビデオを見る.....30
3.7 **ビデオをハードディスクに録画する**.....31
標準録画.....32
タイムシフト録画.....33
3.8 **静止画像のキャプチャ**.....34
3.9 **メディアライブラリ**.....34
3.10 **ビデオファイルをディスクに書き込む**.....35
3.11 **ディスクの再編集**.....36
3.12 **ショートカットキー一覧**.....36
3.13 **リモコンによる操作**.....37

第4章　録画したビデオを携帯電話で楽しむ.....38
4.1 Ulead Video Studio 7 SE DVD**について**.....38
4.2 **インストール手順**.....38
4.3 **注意事項**.....41
4.4 **ケータイで動画を楽しむ**.....41
4.4.1 3GPP/3GPP2**とは**.....41
4.4.2 3GPP/3GPP2**ファイルの出力手順**.....42

4.4.3 ケータイでのビデオ再生についての情報 44

第5章　その他のバンドルソフト 45
5.1 バンドルソフトとインストールについて 45
5.2 micro CATCH TV 3での特記事項 45
5.3 サポートについて 46

第6章　Q&A 47
製品保証／ユーザーサポートについて 49

micro CATCH TV 3 のご紹介

このたびはmicro CATCH TV 3 をお買い上げいただき、ありがとうございます。 本製品はテレビ放送の視聴はもちろん、テレビ放送や外部入力からの動画・静止画の取り込みにも活用できる、多用途なマルチメディア機器です。

主な特徴

ソフトウェアエンコードによる MPEG-1/2 動画キャプチャ(※1) : **ソフトウェア** MPEG **エンコーダにより、**MPEG-1/2 **形式によるキャプチャ（録画）を実現します。**

高画質 9 ビットビデオデコーダ採用: Philips Semiconductors **社製** 8 **ビットアナログ**-**デジタルコンバータ（**ADC**、ビデオデコーダ）『SAA7114』を採用。**

シリコンチューナー搭載: **従来の金属ケース入りのチューナーユニットを** 2 **個の** IC **チップに置き換えた、地上波および** CATV **の受像が可能なチューナーを搭載しています。**

ビデオ編集・変換・DVD 作成: MPEG/AVI **ビデオファイルのトリミング＆カット編集、別の形式への変換出力が可能なビデオ編集ソフト「Ulead Video Studio 7 SE DVD 』、を同梱。**

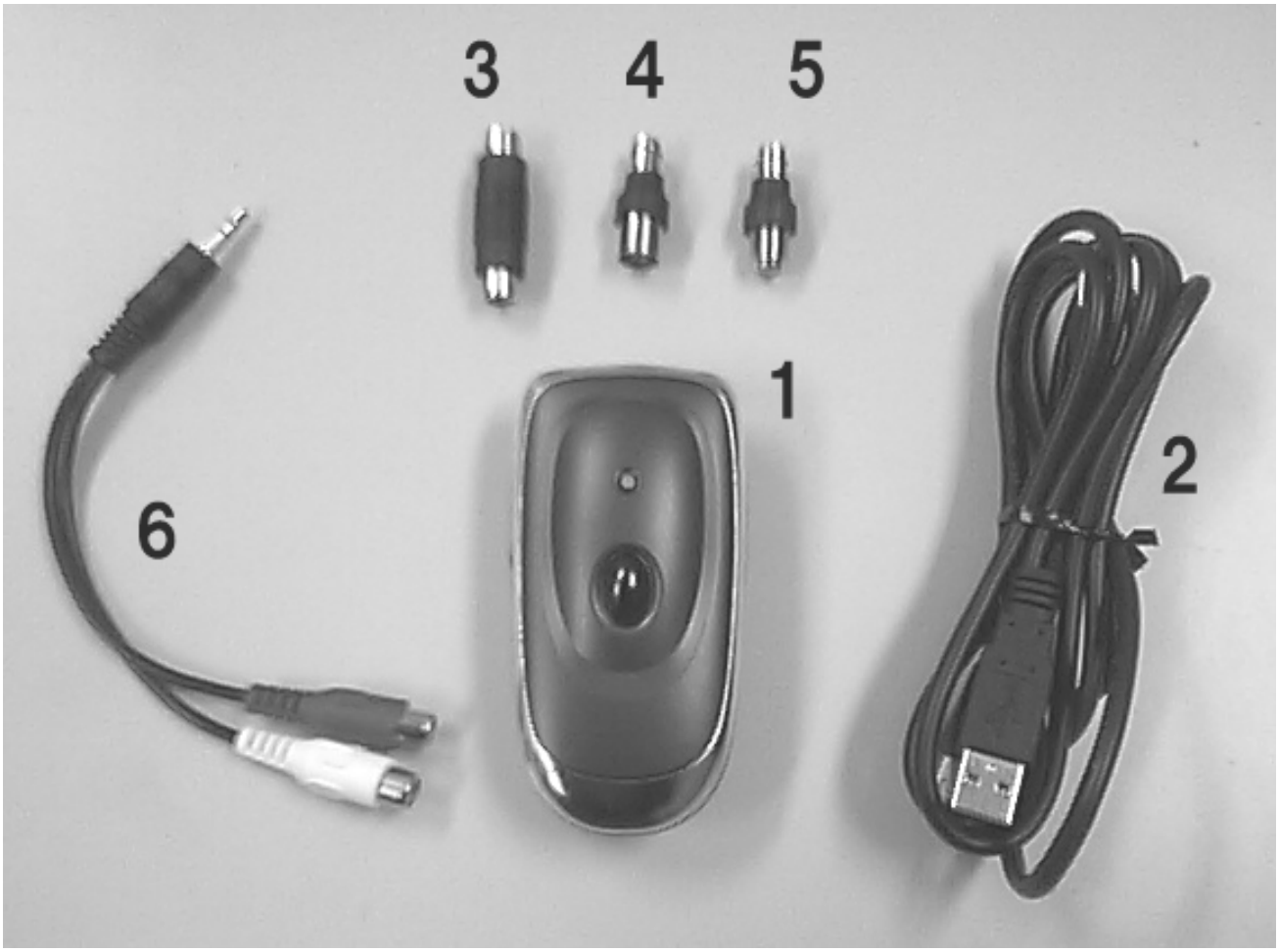
ケータイがポータブルビデオプレイヤーに:**「Ulead Video Studio 7 SE DVD」には、**3G**（第三世代）携帯電話の標準動画フォーマット「**3GPP**」と「**3GPP2**」形式対応のファイル出力機能を搭載。録画したファイルを携帯電話で再生して楽しめます。**

※1 **保存先がFATおよびFAT32ファイルシステムの場合、録画(キャプチャ)可能なファイルサイズは、それぞれ最大2GB(FAT使用時)、最大4GBまで(FAT32使用時)となります。**
4GBを超える容量の録画を行うには、Windows XP上でNTFSファイルシステムのドライブ(パーティション)をお使いください。

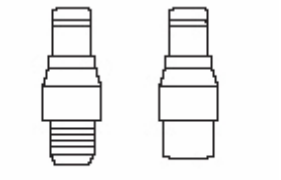
第１章　準備

1.1 パッケージの内容

本製品のパッケージを開封したら、次のような内容物が含まれていることをご確認ください。



- micro CATCH TV 3**本体（１）**
- USB**ケーブル（２）**
- S**ビデオ-コンポジット変換コネクタ（３）**
- IEC**型アンテナプラグ（海外**PAL/SECAM**地域用、ギザギザのないもの）（４）**
- F**型アンテナプラグ（国内および海外**NTSC**地域用、ギザギザのあるもの）（５）**
- **オーディオケーブル (ステレオミニプラグ-**RCA**ピンジャック×２)（６）**
- **赤外線リモコン送信機**
- **リモコン延長ケーブル**
- **インストール**CD
- **ユーザーズマニュアル (本書)**
- **保証書**
- **ユーザー登録案内書**



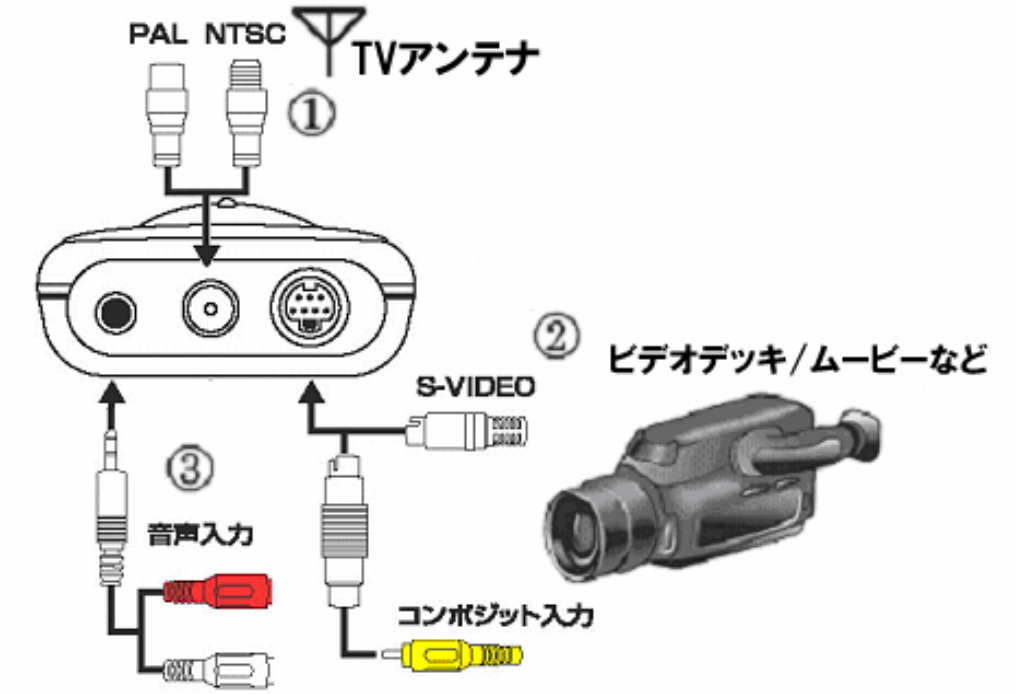
1.2 仕様/動作条件

仕様	
種別	USB接続テレビチューナー/ビデオキャプチャユニット
パソコン側インターフェース	USB 2.0（ユニバーサル・シリアルバス2.0 シリーズAコネクタ） ※ WindowsXpでは、Microsoft製USB 2.0ドライバでのみ動作を確認しています。 ※ PCMCIAカードタイプのUSB2.0インターフェースの場合、PCMCIAカード側に別途ACアダプタが必要となります。 ※ USB1.1での動作の保証は致しません。
コントローラ	ビデオデコーダ: Philips Semiconductors SAA7114
テレビチューナー（注1）	Philips Semiconductors TDA8275シリコンチューナー＋TDA8290デジタルIF 受信可能チャンネル（国内）: VHF 1～12/UHF 13～62/CATV C13～C63ch（注）CATV放送局が提供している専用チューナーでのみで受信が可能なものにつきましては、本製品では受信は出来ません。
音声出力	モノラル
映像出力	MPEG-1, MPEG-2（System Stream 固定、可変ビットレート 2Mbps~8Mbps） 解像度(320X240~720X576の範囲で選択可)
入出力端子	RF入力（アンテナ端子）、ビデオ入力（Sビデオ用ミニDINジャック・コンポジット入力変換ケーブル付属）、音声入力（ステレオミニジャック）、リモコン拡張端子
電源	直流5V／USBバスパワー（電源をパソコン側から供給）
消費電力/電流	5.25W/1A（最大）
動作温度/湿度	0～35℃/30～80%
寸法	106mm（L）×50mm（W）×32mm（H）（突起部を除く）
重量	65g（本体のみ）
動作条件	
PC本体	少なくとも2つの空きUSB2.0コネクタのある、IBM PC/ATまたはその互換機(DOS/Vマシン)
CPU（推奨）（注2）	MPEG-1、MPEG-2（320×240ドット）での録画-Pentum4 1.6GHz以上のCPU MPEG-1およびMPEG-2 （640X480, 720X480ドット）での録画には- Intel Pentium 4　2.4GHz以上、AMD Athlon XP 2600+以上のCPU ※ 録画性能はCPUのほかに、メモリ容量やUSBホストインターフェースの性能にも左右されることがあります。
メモリ	256MB以上（512MB以上推奨）
ディスプレイ	16ビットカラー以上とDirectX 9.0以上に対応し、ハードウェアオーバーレイの可能なビデオカード(AGPグラフィックカード推奨)
OS	日本語版Microsoft Windows XP (Home Edition/ Professional) Service Pack 1
HDD	付属ソフトをすべてインストールする場合: 550MB以上 （録画に必要な容量は含みません）
その他	TV アンテナ(またはCATVケーブル)が使えること、サウンドカード（またはパソコン内蔵のオーディオ機能）とスピーカー、CD-ROM の読み取れるドライブ(インストール用)

※ 注1）本製品は全世界でお使いいただけるように設計されていますが、製品保証およびユーザーサポートの対象範囲は、日本国内に限定されます。あらかじめご了承ください。

※ 注2）ハイパースレッディング（HT）対応のCPUを搭載したパソコンでは、インストールを行う前に、ハイパースレッディング機能をBIOSなどから事前に無効に設定しておく必要のある場合があります。

1.3 接続例



テレビ放送受信のための準備

- TV アンテナまたはCATVケーブルをアンテナ入力に接続します。国内、またはNTSC地域（北米、韓国、台湾など）ではNTSC用、それ以外の地域（PAL/SECAM地域）ではIEC用のアンテナプラグをmicro CATCH TV 3側に装着した状態で、ケーブルを接続してください。（①）国内の場合、アンテナケーブルには「F型接栓(コネクタ)」の取り付けが必要です。お使いのアンテナケーブルにF型接栓が付いていない場合は、最寄りの電気店などでお求めの上、お取り付けください。

外部ビデオソース (ビデオデッキ、ビデオムービーなど)の接続

外部のビデオデッキなどを接続する場合は、前述の「テレビ放送受信のための準備」に加えて、

- ビデオ機器のビデオ出力端子との間を、SビデオケーブルまたはAV（RCA）ケーブルで接続します (②)。AVケーブルをmicro CATCH TV 3に接続する場合は、付属の変換コネクタをお使いください。
- micro CATCH TV 3の音声入力端子はステレオミニジャックです。ビデオ機器からのオーディオケーブルがRCAピンプラグ形式で分岐している場合は、付属のオーディオケーブルを介して接続します (③)。ステレオミニプラグのオーディオケーブルで接続する場合は、そのままmicro CATCH TV 3に接続します。

※ micro CATCH TV 3の音声入力端子にビデオデッキなど外部ビデオ機器からの音声出力を接続される場合、お使いの機器によっては出力音声ソースを切り替えないと、音声がmicro CATCH TV側に正しく入力されないことがあります。詳しくはお使いのビデオ機器の取扱説明書をご参照ください。

- 本体側面にあるジャックは、リモコン延長ケーブルを接続するための端子です。micro CATCH TV 3本体にもリモコン受光器がありますが、micro CATCH TV 3を設置する場所によってリモコンの反応が鈍くなる場合は、この延長ケーブルを接続し、リモコンを使う場所からできるだけ近い位置に受光部を置いてください。

1.4 お取り扱いについてのご注意

本製品には、若干発熱しやすい電子部品が組み込まれております。

本製品は熱による事故や動作不良を未然に防止すべく、細心の注意を払って設計されておりますが、誤った使い方によって発熱が原因となる問題が発生する可能性があります。お取り扱いにご注意ください。

- 本体を布や紙などで覆ったり、バッグなどの中に入れたままにしたりするなど、風通しを妨げるような環境下で使用すると、本体内部の温度が動作可能な限界を超えて上昇し、動作不良や故障の原因となるおそれがありますので、絶対にお避けください。
- 直射日光の当たる場所や、ストーブなど暖房器具のそばで使用すると、本体内部の温度が動作可能な限界を超えて上昇し、動作不良や故障の原因となるおそれがありますので、設置場所にご注意ください。
- 本製品の使用中、本体周辺や金属部分（各端子、アンテナプラグなど）は熱くなる場合があります。取り扱いにはくれぐれもご注意ください。
- 長時間手に持ったまま使用すると、低温やけどを起こすおそれがあります。ご注意ください。

第２章　接続とインストール

2.1ドライバのセットアップと接続についての注意事項

1. micro CATCH TV 3のパソコンへの接続は、ドライバのセットアップをCD-ROMより行った後micro CATCH TV 3を接続します。
ドライバのインストール前に、パソコンへの接続を行わないでください。

2. ドライバのセットアップ後、セットアップを行ったUSBポート以外のUSBポートへ接続を変更した場合、再度ドライバのセットアップの要求をされる場合があります。

2.2.1 Windows XPへのインストール

注: Windows XP では、インストールは必ず「管理者（Administrator）権限」のアカウントで行ってください。

micro CATCH TV 3 ドライバのインストール

1. CD-ROMドライブに付属のドライバCD-ROMを挿入し、**「デバイスドライバ」**を選択します。

2. **「言語の選択」で「日本語」**を選択します。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。

3. **右図の様に警告メッセージが表示されます。もし、microCatchTV3をパソコンに接続されている場合は、外してから「OK」ボタンをクリックしてください。**

4. 「DC112X セットアップウィザード」が起動します。

[次へ]をクリックします。

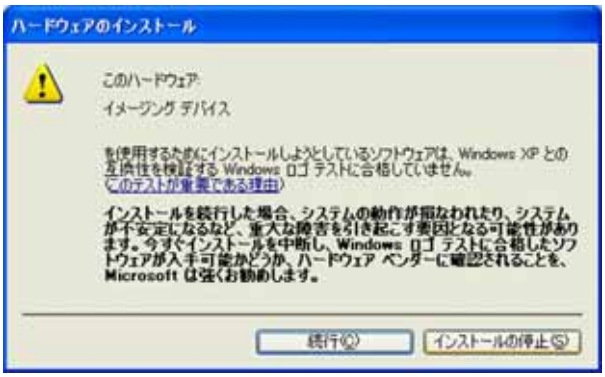
5. 「使用許諾契約の条項に同意します。」にチェックを入れます。

[次へ]をクリックします。

6. 「インストールの開始する準備ができました」の画面がでます。

[インストール]をクリックして次に進みます。

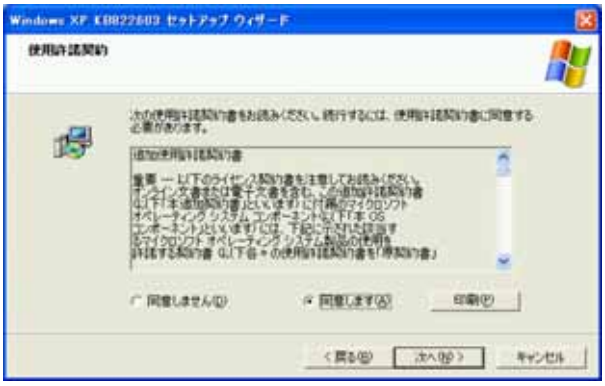
7. インストールが実行されます。



8. 「ハードウェアのインストール」で、右図の様に「Windowsのロゴ認証」に関する警告がでますが、「続行」を選択してください。

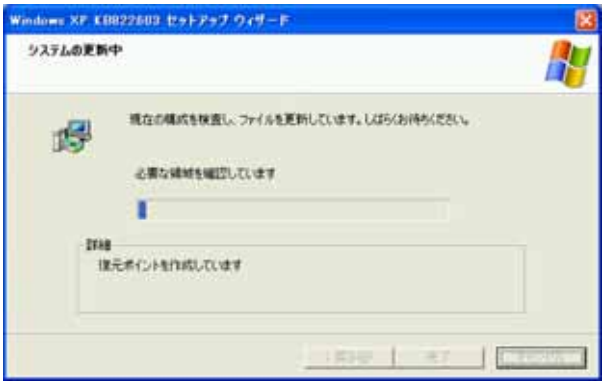
9. **Windows XP USB2.0の修正プログラム「KB822603」がインストールされていない場合、右図の様なウィザードが起動しますので、指示に従ってくインストールを行ってください。**

[次へ]をクリックして次に進みます。



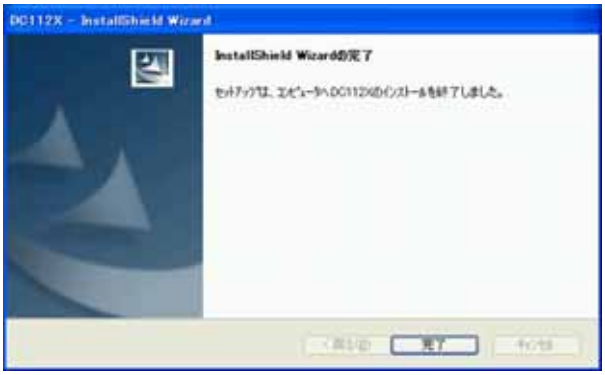
10. **「使用許諾契約」の画面で、「同意します（A）」にチェックを入れます。**

[次へ]をクリックして次に進みます。



11. Windows XP USB2.0**の修正プログラムのインストールが開始されます。**

12. **Windows XP USB2.0の修正プログラム「KB822603」のインストールの完了画面が出ましたら、「完了」ボタンをクリックします。**



13. **「DC112X セットアップウィザード」の完了画面が出ましたら、「完了」ボタンをクリックします。**

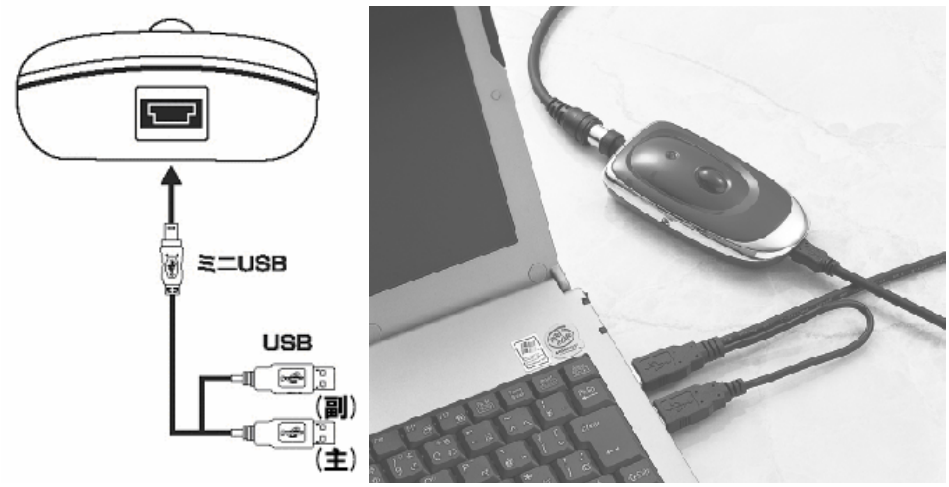
P.14 の 2.2.3 micro CATCH TV 3のパソコンへの接続～認識へ進みます。

14. **右図の様にメッセージが出ましたら「OK」ボタンをクリックして、「2.2.2の micro CatchTV3のパソコンへの接続～認識」への項目へ進んでください。**

2.2.2 micro CATCH TV 3のパソコンへの接続～認識

再起動後、micro CATCH TV 3**をお使いのパソコンに取り付けましょう。**

1. **ドライバのセットアップが終了したら、**Windows**を再起動します。**
2. **付属のUSBケーブル（主・副）をパソコン本体の２つの**USB**端子（シリーズ**A**）に接続します。**
3. **もう一方を**micro CATCH TV 3**の前面にあるUSB端子（シリーズミニ**B**）に装着します。**



接続先が外部電源供給機能を持たない（バスパワータイプの）PCMCIA CardBus**スロット用**USB**ホストインターフェースカードや**USB**ハブの場合、そのままでは電力不足によりお使いいただけないことがあります。**

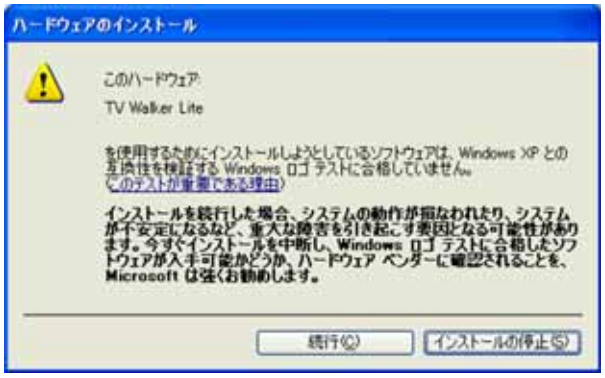
PCMCIA CardBus用USBインターフェースカードやUSB ハブは、ACアダプタなどによる外部電源供給機能を持つもの（セルフパワータイプ）をお使いください。

※ 環境によって、接続後ハードウェアウィザードが起動する場合があります。
そのような場合、次ぎの 2.3.4 の 「接続後のセットアップ手順」の項目へ進んでください。

2.2.3 接続後のセットアップ手順（WindowsXP）

1. パソコンに接続しますと、左図のように「新しいハードウェアウィザードの開始」画面が起動します。

[次へ>]をクリックすると、次に進みます。



2. WindowsXpの場合、「ハードウェアのインストール」で、右図の様に「Windowsのロゴ認証」に関する警告がでますが、「続行」を選択してください。

3. ドライバのインストールが開始されます。

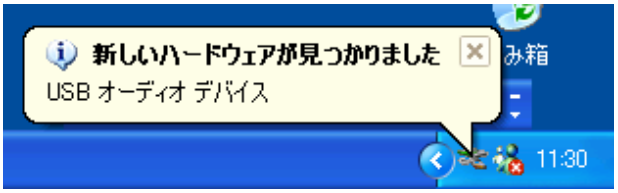
4. 環境によっては　、途中で左図の様に「TV Walker Lite上のファイル、”Stk Mini.sys” が見つかりません。」と表示される場合があります。
(この表示がされない場合は、自動的にインストール画面（7の項目）まで進みます。)

[コピー元（C）]に、ドライバの位置を指定してください。

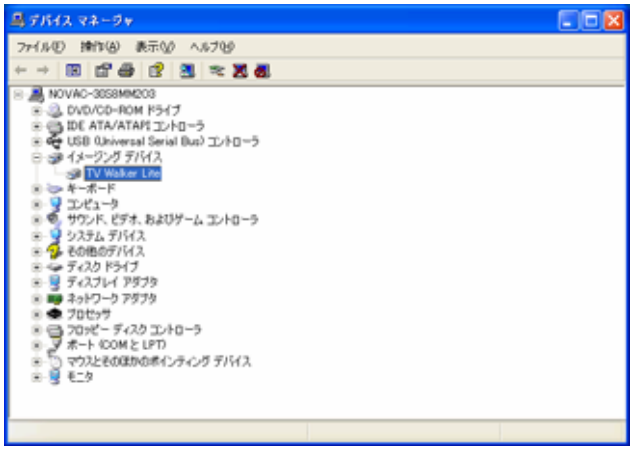
例）C:￥windows￥system32￥drivers
（インストールパスが C: **ドライブの場合)と指定してください。**

5. ドライバのインストールが開始されます。

6. インストールのの完了画面が出ましたら、**「完了」**ボタンをクリックします。



7. WindowsXPの場合　引き続きUSBオーディオデバイスの吹き出しが表示され、自動的にインストールが完了します。



8. ドライバのインストールが済みましたら、**「デバイスマネージャ」を開き、左図の様に「イメージングデバイス」の項目に、「TV Walker Lite」が認識されていること**をご確認ください。
＊【デバイスマネージャの開き方】
「スタート」→「コントロールパネル」（WindowsXPの場合はクラシック表示に切り替えが必要）→「システム」の順で開き、「ハードウェア」のタブから、「デバイスマネージャ」のボタンをクリックして表示させます。

2.3 ドライバのアンインストール

WindowsXpでは、「コントロールパネル」内の「プログラムの追加と削除」から、「DC112X」を選択して「変更と削除」ボタンで　アンインストールができます。

再起動後に削除されますので、必ず再起動を行ってください。

今後新しいドライバが提供される場合、インストールを行う前に、まず上の手順で古いドライバを削除してください。

第 3 章　Ulead Video @ Home 2

3.1 Ulead Video@Home 2.0について

Ulead Video@Home 2.0(ユーリード・ビデオアットホーム)は、micro Catch TV3との組み合わせにより、MPEG-1またはMPEG-2形式、AVI形式による録画を可能にするソフトです。使いやすいインターフェースと機能を備えており、即時にTV番組やビデオデッキ、ビデオカメラ、TVゲームなどのビデオソースからS-Videoやコンポジットジャックを通してコンテンツを表示したり、録画したりすることができます。録画中、TV チューナーカードはビデオをビデオファイルとしてハードディスクに保存します。
Ulead Video@Homeは、簡単に操作が可能な数々の表示および録画タスクを提供します。

※ 他のテレビ録画ソフトのインストール後にUlead Video@Home 2.0で不具合がみられる場合は、そのソフトをアンインストールしてください。
※ **本製品のユーザーサポート窓口は、ユーリードシステムズ株式会社となります。**詳しくは4.4章をご参照ください。

3.2 インストール手順

以下にUlead Video@Homeのインストール手順をご紹介します。なお、第4章でご紹介しているUlead VideoStudio 7 SE DVDのインストール手順も、ほぼ同じですので、参考にしてください。

注: Windows XP Professionalでのインストールは、必ず管理者（Administrator）権限のアカウントで行ってください。

1. micro Catch TV3のインストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。左のようなメニューが起動しない場合は、CD-ROMのルートからINSTALL.EXE を起動します。

2. メニューからインストールするソフトウェア名（Ulead Video@Home）をクリックします。

3. Ulead Video@Homeのインストールメニューが表示されます。「Ulead Video@Home 2のインストール」を選択してください。

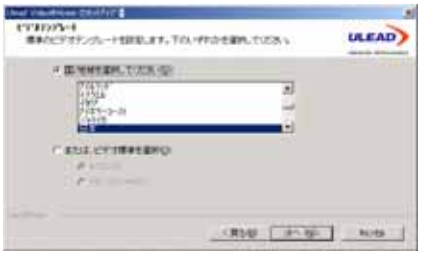
4. **右のような画像が画面上に現れ、**Ulead Video@Home**のインストールが開始されます。**

5. **左のようなウィンドウが表示されたら**, [**次へ**]**ボタンをクリックしてください。**

6. **右のように使用許諾書が表示されたら、お読みになってから[使用許諾契約の全条項に同意します(A)]を選択して[次へ>]をクリックしてください。**

7. **名前と会社名は、**Windows**のユーザー情報から自動的に取得されます。変更する場合は、各テキストボックスの内容を削除した上で入力し直してください。シリアル番号を入力する必要はありません。** [**次へ>]をクリックしてください。**

8. Ulead**ソフトをインストールするフォルダを選択してください。インストールするフォルダは、プログラムによって定義されているフォルダをそのまま選択されることをお勧めします。別のフォルダにインストールするには、**[**選択….]ボタンをクリックし、目的の場所を選択してから[次へ>]をクリックしてください。**



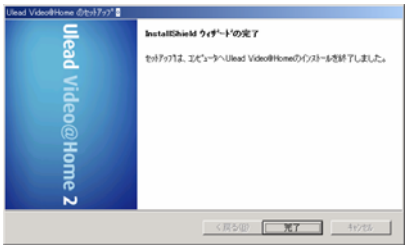
9. **日本国内でお使いになる場合、「日本」を選択してから[次へ>]をクリックしてください。**

10. スタートメニューに表示されるフォルダの名前を指定した後、ファイルのコピーを開始するには[次へ>]ボタンをクリックしてください。

11. キャプチャされたファイルの保存先を指定します。通常は空き容量の多いフォルダが自動的に選択されます。変更するには[参照]をクリックし、目的の場所を選択してから[次へ>]をクリックしてください。

12. インストールの準備が完了したら、[インストール]をクリックします。

13. ファイルがすべてコピーされ終わると、左のようにReadMeファイルを読むかどうかと、オンライン登録を行うかどうかを選択するチェックボックスが表示されます。必要に応じてそれぞれのチェックボックスを選択または解除してから[次へ]をクリックしてください。（[次へ]をクリックした後DirectX9bのインストールが始まります。）



14. 以上でUleadソフトのインストールが完了しました。
プログラムは[スタート]メニュー – [プログラム] – [Ulead Video@Home]の下に登録されます。

※ アンインストールを行うには、[スタート]メニュー – [コントロール パネル]の「プログラムの追加と削除（または「アプリケーションの追加と削除」）」から「Ulead Video@Home 2.0」を選択してください。

3.3 Ulead Video@Home の実行

1. micro Catch TV3がPCに正しく接続され、かつ各ケーブル接続が正しく接続されていることを確認してください。

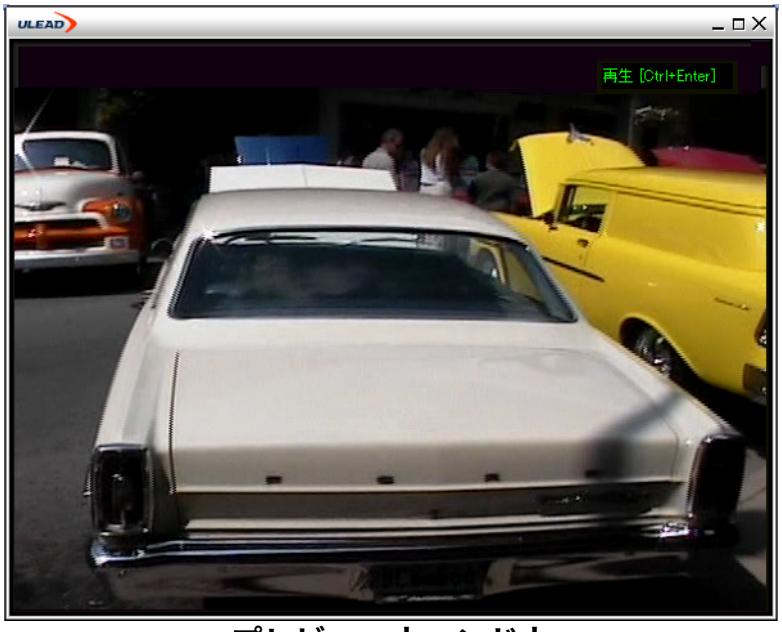
2. デスクトップの［Ulead Video@Home］アイコンをダブルクリックするか、またはWindowsの［スタート］→［プログラム］グループから［Ulead Video@Home］を選択してください。

3. Ulead Video@Home が立ち上がると、画面にはプレビューウィンドウが表示されます。コントロールパネルを使ってビデオを表示または録画します。

メモ:

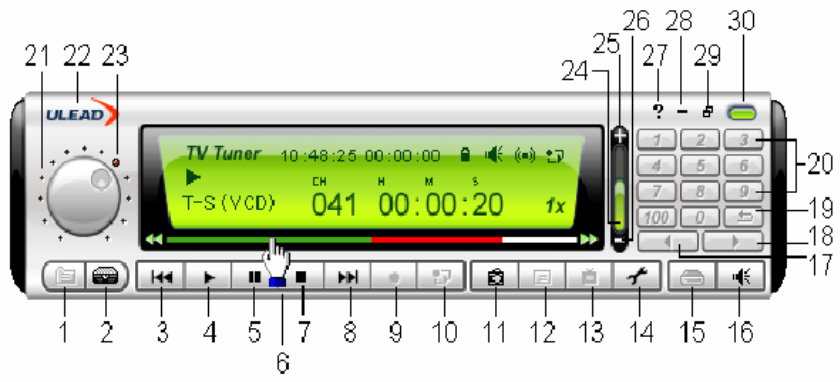
- Video@Home を初めてTV に接続する際、TV 設定（アンテナまたはケーブルTV）を選択し、[自動スキャン] をクリックしてください。Video@Home がご使用の地域で見ることができるすべてのTV チャンネルを保存します。
- TV の音声が聞こえない場合は、オーディオ出力および入力が正しく接続されているかどうか確認してください。、Windows のボリュームコントロールで各音量コントロールがミュートに設定されていないかどうかを確認してください

3.4 作業領域について

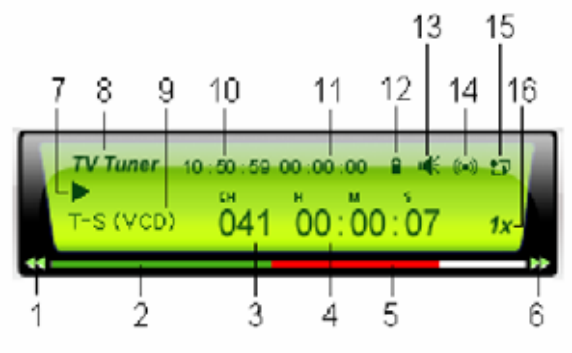


プレビューウィンドウ

OSD (オンスクリーン• ディスプレイ) は適用されたコマンド、現在選択されているチャンネル、オーディオ言語など、様々な情報を表示します。OSD は画面右上に表示され、数秒後自動的に消えます。



1. ソース
2. メディアライブラリ
3. 開始点
4. 再生
5. 一時停止
6. タイムシフトステータスバーとカーソル (緑: 再生可能)(赤: 録画中)
7. 停止
8. 終了点
9. 録画
10. タイムシフト
11. スナップショット
12. 再生リスト
13. ビデオ形式
14. 設定
15. HDD/ ディスク
16. ミュートオン/ オフ
17. 前のチャンネル
18. 次のチャンネル
19. 最後に見たチャンネル
20. 数字パッド
21. 再生速度ノッチ
22. バージョン情報
23. 現在の再生速度ノッチ
24. 現在の音量レベル
25. 音量を上げる
26. 音量を下げる
27. ヘルプ
28. コントロールパネルを最小化/ 戻す
29. 画面のリサイズ
30. 終了



1. 後退ジャンパー
2. タイムシフト再生可能範囲
3. 現在のチャンネル (録画参照のみ; 時: 分: 秒)
4. 経過時間
5. タイムシフト録画範囲
6. 前進ジャンパー
7. 再生状況
8. 現在の入力ソース
9. 現在の出力/ タイムシフト/ 再生リストおよびビデオ形式
10. 現在の時間
11. 残りのハードディスク容量
12. リモコン状況
13. ミュート状態
14. MTS 状況
15. プログラムモード
16. 現在の再生速度

1. **後退ジャンパー** タイムシフトが有効な際に、特定のポイントへ戻ります。
   さらに、プレビューウィンドウかコントロールパネルのいずれかを右クリックすると、クイックメニュー（以下に表示）を開くことができます。

2. **タイムシフト再生可能範囲** タイムシフト録画されたビデオの長さを表示します。この範囲内のどこかをクリックすると、タイムシフト録画中にプレビューすることができます。

3. **現在のチャンネル** 現在選択されたTV チャンネル番号を表示します。

4. **経過時間** 録画経過時間、または再生リストの経過時間を表示します。

5. **タイムシフト録画範囲** タイムシフト録画されたビデオの長さを表示します。

6. **前進ジャンパー**　タイムシフトが有効な際に、特定のポイントへ進みます。
7. **再生状況** 現在の再生モードを表わします。
8. **現在の入力ソース** 現在使用中のソースを表わします。
9. **現在の出力/ タイムシフト/ 再生リストおよびビデオ形式** 最初の2 つは使用中の出力モード、次の部分(カッコ内) は使用中のビデオ画質を示します。
10. **現在の時間** 現在の時間を時: 分: 秒形式で表示します。
11. **残りのハードディスク容量** 現在のビデオ録画可能なHDD 容量を時: 分: 秒形式で表わします。
12. **リモコン状況** TVチューナーカード付属のリモコンの現状を表示します。例えば、ロックとはリモコンがプログラムに接続されていないことを意味します。
13. **ミュート状態**　音量のオン、オフを切り替えます。
14. **MTS 状況** 現在のMTS （音声多重）モードを示します。
15. **プログラムモード** 現在のプログラム状況を表示します。
16. **現在の再生速度** 現在の再生速度を表わします。

さらに、プレビューウィンドウかコントロールパネルのいずれかを右クリックすると、クイックメニュー（右図）を開くことができます。

Windows **タスクバーには［**Video@Home **予約］ウィザードのアイコンも表示されます。この特別なアイコンは、次のアイテムへのクイックアクセスを提供します**:

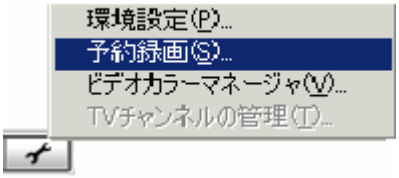
- Video@Home **プログラムを開く。**
- **予定された録画時間よりも前に**Ulead Video@Home **を立ち上げる。**
- TV**番組ファイルのタイプを**Ulead Video@Home **に関連付ける。**

3.5 カスタム設定

ここではUlead Video@Homeの設定が幾つかのカテゴリ別に提供されており、自由に選択することができます。

テレビウィンドウ

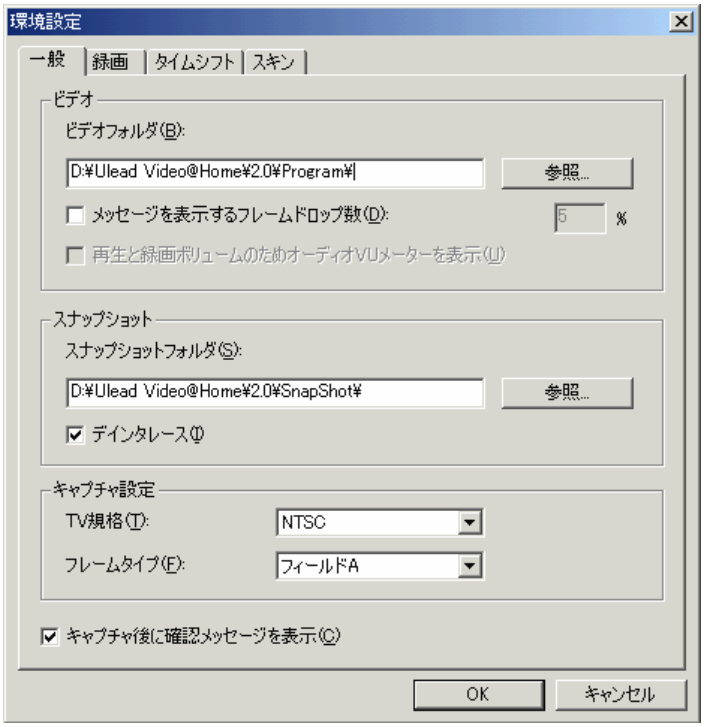
テレビ画面など、選択中の入力ソースからのビデオ入力画面、およびチャンネル番号・音声モードなどの情報を表示します。



環境設定

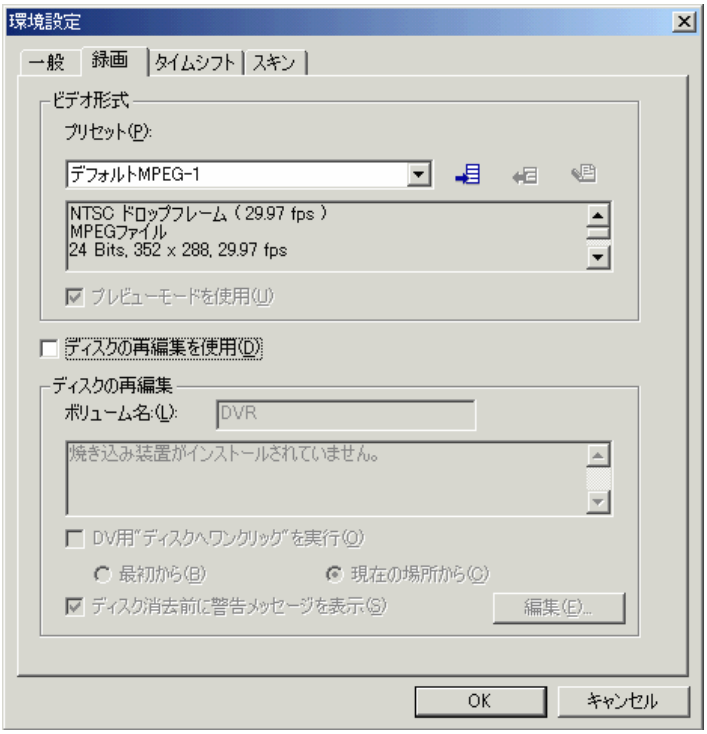
一般

Ulead Video@Home を使用する際、" キャプチャ後に確認メッセージを表示" を選択することをお勧めします。こうすることで、キャプチャビデオやイメージファイルがどのフォルダに保存されたかをすぐに知ることができます。



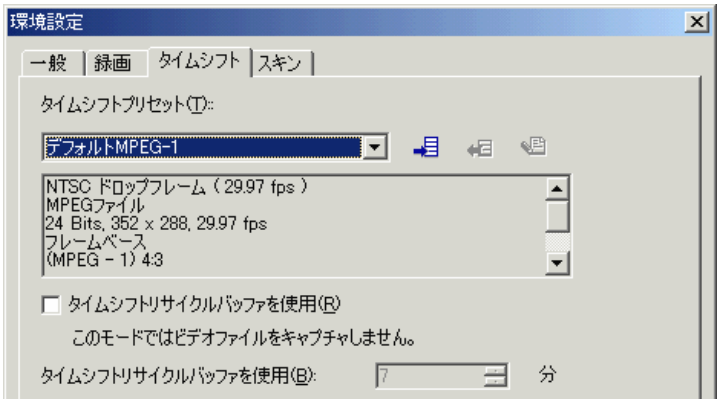
録画

録画時のビデオファイル形式は、既存のプリセットを選択するか、独自の形式を作成するか、または新規プリセットを追加するなどして指定することができます。[ディスクの再編集] を選択すると、ビデオをハードディスクへ録画するのではなく、直接ディスクに書き込むことができます。TV チューナーカードから使用可能なビデオ形式を使う場合は、[プレビューモードを使用] を選択してください。



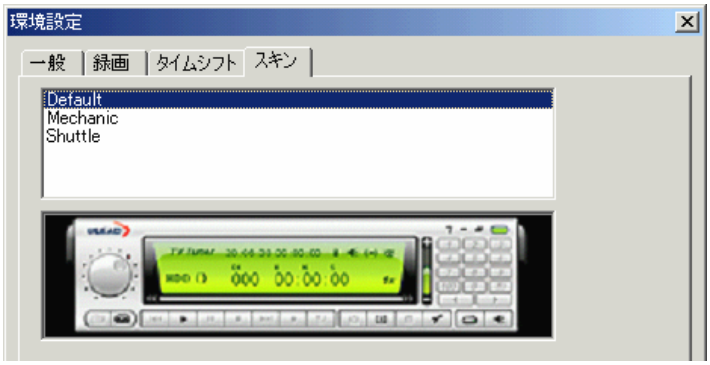
タイムシフト

タイムシフト録画時のビデオファイル形式を決定します。独自のプリセットを追加することもできます。また、[タイムシフトリサイクルバッファ] では、ビデオ録画のキャッシュの長さを設定することができます。この機能は、指定された時間内に表示された前のビデオのみを録画(現在の再生ポイントと比較した場合) するため、キャッシュを録画されたビデオファイルとして使用したい場合にのみこのオプションを選択してください。



スキン

お好みのコントロールパネルを選択することができます。



予約録画

予約録画機能を使うと、録画したいTV 番組が放送される前に、TV 番組のリストを作成することができます。この機能は、従来のビデオデッキよりもずっと手軽に予約録画を行うことができます。

予約録画を行うには:

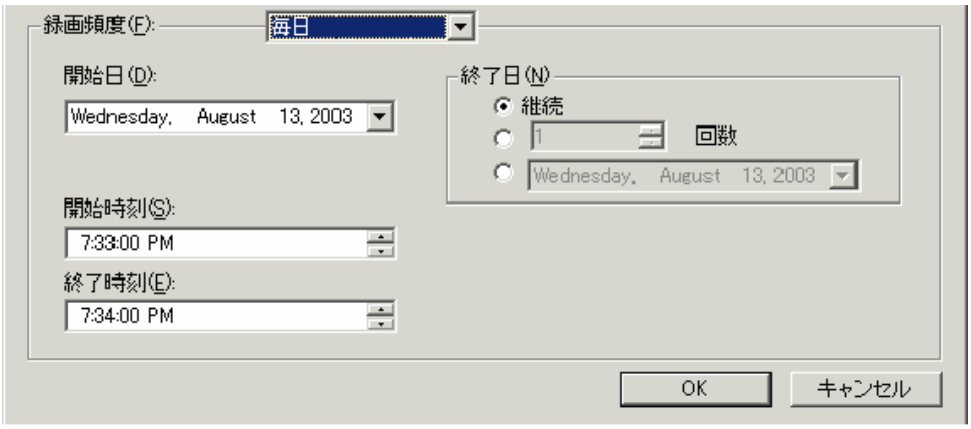
1. **［設定］をクリックし、［予約録画］を選択してください。**
2. **［追加］をクリックします。**
3. **任意の番組名を入力し、TV 番組が放送されるチャンネルを選択してください。**
4. **ビデオ画質を決定する録画モードを選択します。**
5. **［録画頻度］でこの番組を録画する頻度を選択してください。**
6. **番組が放送される日付と時刻を日付、開始時刻、終了時刻の順に設定してください。**
7. **［OK］をクリックしてください。**

その他の番組を録画する場合は、ステップ1 ～ 7 を繰り返してください

メモ:

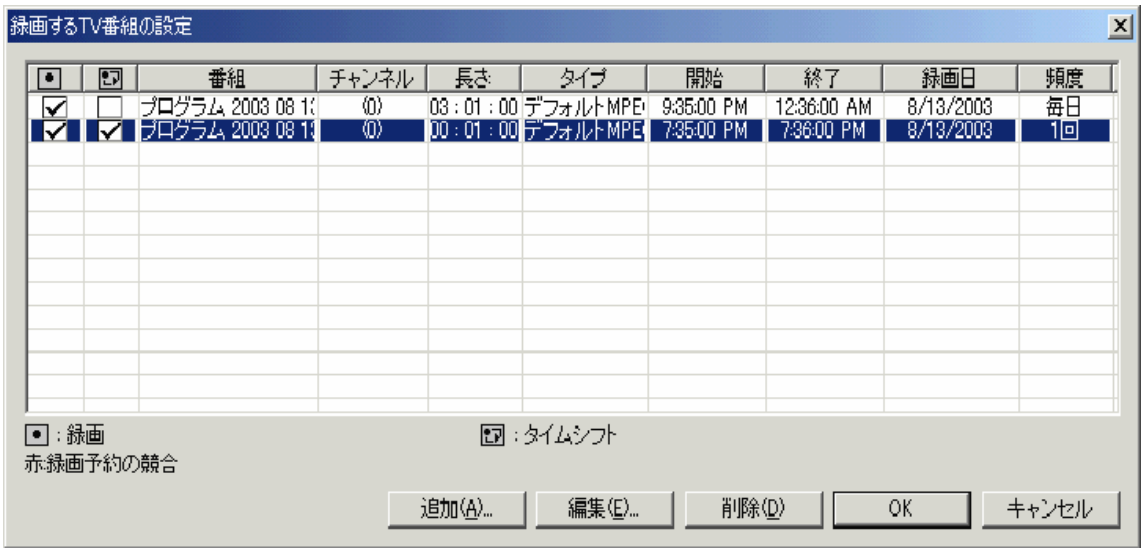
- **外出中でも録画が実行されるようにPCの電源を入れたままにしておいてください（電源オフ、休止状態、スタンバイ状態から復帰しての予約実行には対応していません）。**
- **予約録画が開始する前に一時的にUlead Video@Home をオフにしたい場合、［Video@Home 予約］ウィザードのアイコン（Windows タスクバー）をクリックし、録画前にVideo@Home を自動的に起動する時間を指定してください。**
- **予約録画が有効な場合、Ulead Video@Home で別のTV チャンネルに切り替えることはできません。**

録画するTV番組を追加/編集
予約録画設定
カスタム番組名(O):
プログラム 2003 08 13 19 20
チャンネル(C):
(34)CH34
録画モード(R):
デフォルト MPEG-1
チャンネルプレビューを有効にする(V)
録画頻度(F):
1回
開始日(D):
Wednesday, August 13, 2003
開始時刻(S):
7:21:00 PM
終了時刻(E):
7:22:00 PM
OK
キャンセル


録画頻度(F):
毎日
開始日(D):
Wednesday, August 13, 2003
開始時刻(S):
7:33:00 PM
終了時刻(E):
7:34:00 PM
終了日(N)
継続
1
回数
Wednesday, August 13, 2003
OK
キャンセル

録画頻度(F):
毎週
開始日(D):
Wednesday, August 13, 2003
開始時刻(S):
7:33:00 PM
終了時刻(E):
7:34:00 PM
終了日(N)
継続
1
回数
Wednesday, August 13, 2003
録画曜日
日(U) 月(M) 火(T) 水(W)
木(H) 金(I) 土(A)
OK
キャンセル

TV プログラムリストにすべての予約録画が表示されます。［追加］、［編集］、［削除］をクリックして調整を加えることができます。既定では［録画］が選択されています。これは、録画が有効となっていることを表わします。［タイムシフト］を選択すると、タイムシフト録画が有効となります。



iEPG を使った予約録画

Ulead Video@Home は、iEPG (インターネット電子番組表) 対応Webサイト経由で自動的に予約録画タスクを作成することができます。この操作を実行する前に、Ulead Video@Home予約ウィザードのアイコン(Windowsタスクバー上)を右クリックし、[ファイルアクセス] を選択し、iEPG ファイルがUlead Video@Home に関連付けられているかどうかを確認してください。

iEPG を使った予約録画を行うには:

1. iEPG ウェブサイトで録画したいTV 番組を指し、対応の録画アイコンをクリックしてください。

2. 初めてアクセスする場合、Video@Home iEPG機能の地域設定を行う必要があります。お住まいの地域を選択してください。なお、この設定はVideo@Homeのトレイアイコンから[iEPG Service]-[設定]を選択することで、あとから変更することも可能です。

3. [予約録画] のダイアログボックスが表示されます。番組がリストに表示されます。ステップ1 と 2 の手順を繰り返し、必要に応じて録画する番組を追加してください。

4. [OK] をクリックしてください。

メモ:
Ulead Video@Home 2.0は、iEPG™(インターネット電子番組表)を用いた番組予約(録画または視聴)をサポートしています。現在、iEPG対応のテレビ番組表は下記のサイトで提供されており、本製品のiEPG機能はすべてのiEPG対応番組表Webサイトでお使いいただけます。

【iEPGサイト】(2004年2月現在)
インターネットTVガイド (株式会社東京ニュース通信社提供)
http://www.tvguide.or.jp/
ONTV JAPAN (**株式会社ISAO提供**)
http://www.ontvjapan.com/
テレビ王国 (ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社提供)
http://www.so-net.ne.jp/tv/
goo (**株式会社エヌ・ティ・ティ・エックス提供**)

ビデオカラーマネージャ

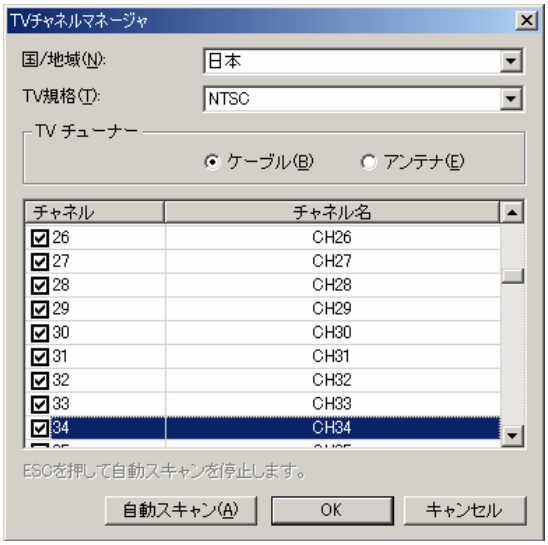
ここでは表示および録画時のビデオカラーを決定します。

- 明度：　　ビデオ画質の明るさの部分を設定します。
- コントラスト：最も明るい部分と暗い部分の差異レベルを設定します。
- 色相：　　主な色とその他の色の差異レベルを設定します。
- 彩度：　　色の濃度を設定します。

TV チャンネルの管理

- **国/ 地域** TV 放送を受信している地域（お使いの地域）を決定します。日本でお使いになる場合は「日本」を選択してください。
- **TV 規格** TV放送形式を指定します。本製品はNTSCにのみ対応しています。
- **TV チューナー**　テレビを地上波アンテナ経由でご覧の場合は「アンテナ」を、ケーブルテレビ経由でご覧の場合は「ケーブル」を選択します。
- **自動スキャン** 使用可能なすべてのTV チャンネルを自動的に検出します。
- **チャンネル名** 各チャンネルに任意に名前を付けることができます。

メモ:
＊ Video@Homeを初めて起動すると、この画面が表示されます。適切に設定を行ってください。
＊ チャンネルの自動スキャンには、時間がかかる場合がございます。また、スキャン中は、他の操作、または 他のアプリケーションの起動、操作等は行わないようにしてください。



3.6 TVの視聴

TV チャンネルの管理でTV チャンネルを設定すると、TV を見ることができるようになります。[ソース] をクリックし、現在選択されている入力ソースがTV チューナーであること、および再生オーディオ入力が正しく選択されていることを確認してください。

TV を見るには:

• TVチューナーカードのリモコンを使います。
• 数字パッドでTV チャンネルの番号をクリックしてください。（チャンネル番号100 以上に切り替える場合は、"100" をクリックしてから、次の二桁を入力してください。たとえば、"100"、"0"、"2" とクリックすると102 チャンネルに切り替わります。）10 以下のチャンネル番号に切り換えるには、"0" とチャンネル番号をクリックしてください。例えば、"0" と"2" をクリックすると、チャンネル2 に切り替わります。
• ［前／次のチャンネル］をクリックしてください。
• ［最後に見たチャンネル］をクリックして、現在のチャンネルと前に選択されたチャンネルを切り替えます。
• タイムシフト録画中にタイムシフトステータスバーをクリックするか、ナビゲーションコントロールを使ってください。

> **メモ:**
> - 右クリックメニューにある[クローズドキャプション] と[Teletext]は、micro Catch TV3では未対応です。

ビデオデッキやその他のアナログビデオソースからビデオを見る

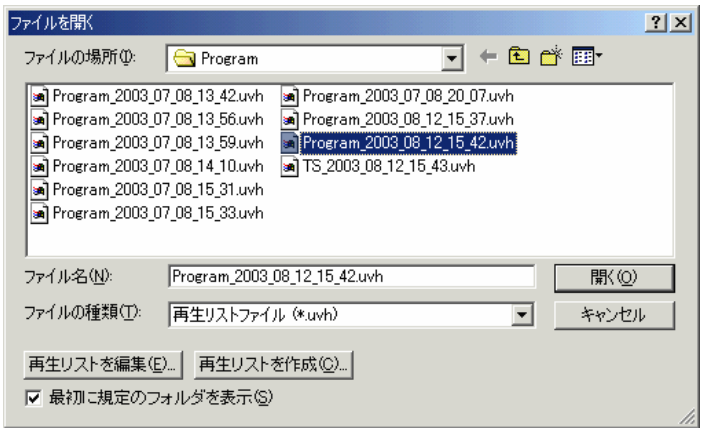
ビデオデッキやビデオカメラなどのビデオソースから、S-Video やコンポジットジャックを使ってビデオを見ることができます。コントロールパネルの［ソース］をクリックし、現在選択されている入力ソースが［S-Video ］または［コンポジットビデオ］であることを確認してください。現在選択されているビデオソースの再生コントロールを使用します。

再生リストからビデオを見る

Ulead Video@Home の再生リストを使い、ハードディスクに保存されたビデオファイルを見ることができます。再生リストにはUlead Video@Homeを使ってキャプチャしたビデオに関する情報も保存することができます。

再生リストからビデオを見るには:

1. ［再生リスト］をクリックしてください。
2. *.uvh（再生リスト）ファイルを選択し、［開く］をクリックしてください。
3. 再生リストの再生が始まります。[再生] を押すと再開します。[再生リスト] を押すと、別の再生リストを選択します。[停止] を押すと前に選択された入力ソースに戻ります。

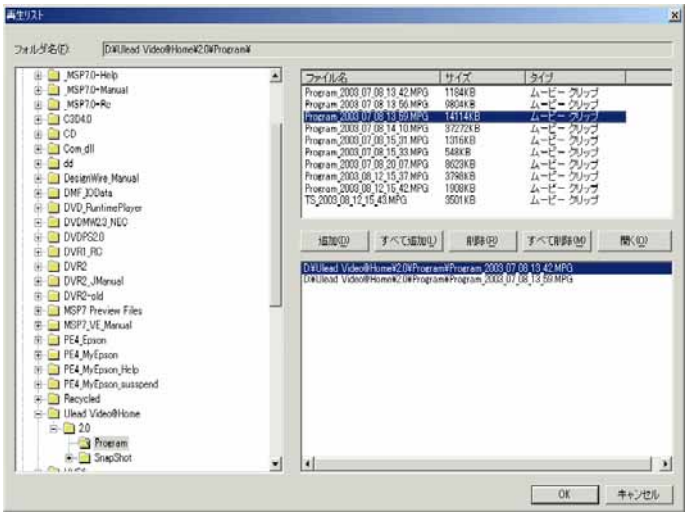


再生リストを作成するには:

1. [再生リスト] をクリックしてください。

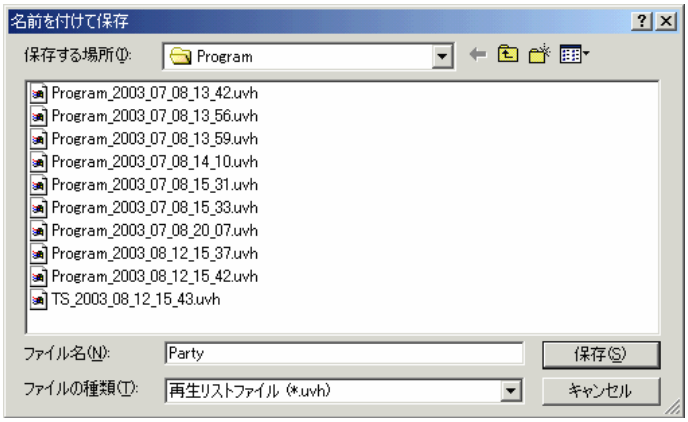
2. 左側の枠で再生したいファイルが含まれるフォルダを選択し、[再生リストを作成] をクリックしてその他のビデオファイルを追加することができます。

3. 上枠からファイルを選択し、[追加] または[すべて追加] をクリックして選択されたファイルを再生リストに追加してください。済んだら [OK] をクリックしてください。



4. 再生リスト名を入力し、[保存] をクリックしてください。

5. 再生リストの再生が始まります。[再生] を押すと再開します。[再生リスト] を押すと、別の再生リストを選択します。[停止] を押すと前に選択された入力ソースに戻ります。



3.7 ビデオをハードディスクに録画する

Ulead Video@Home ではＴＶ 番組やビデオを録画するための2 つのモードが用意されています。各モードにはシームレス録画技術が適用されており、ハードディスクがFAT32 またはNTFS 形式のいずれかにかかわらず、ビデオキャプチャは常にシームレスに行われます。

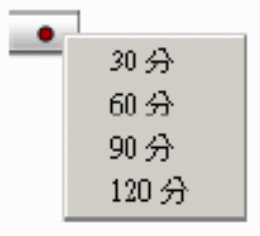
メモ:
ビデオキャプチャにFAT32 ドライブを使用する場合、キャプチャされたビデオファイルの最大制限は4 GB です。Ulead Video@Home はビデオの流れを中断することなく新しいビデオファイルを作成し、自動的に継続した録画を行うことができます。つまり、Ulead Video@Home 再生リストを使ってこのようなビデオファイルを再生する場合、再生リストは継続され、見る側は実際に複数のビデオファイルが再生されていることに気づきません。

標準録画

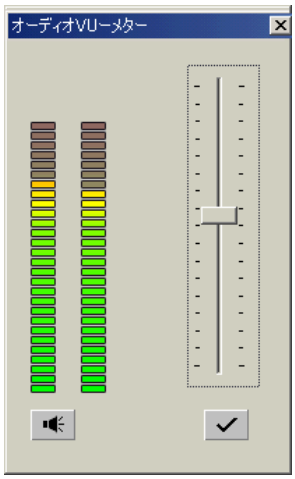
通常の録画コマンドで、ビデオを見ながら録画することができます。録画中にビデオを再生して見ることができます。

標準録画を行うには:

1. TV 番組を録画するには、［録画］をクリックします。他のビデオソースから録画する場合は、ビデオ開始点よりも数秒前から再生を開始し、［録画］をクリックしてください。これで録画開始点を確実に録画することができます。(または[録画] を右クリックし、時間を選択すると素早く録画することができます。)

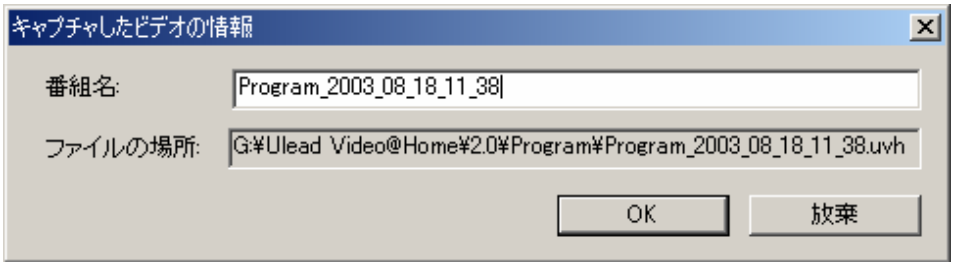


2. 録画が始まります。オーディオVU メーターが表示され、ここで必要に応じて録画や再生音量を調整することができます。



3. 録画中は、［一時停止］を押して一時的に録画を停止したり、［停止］を押して録画を止めることもできます

4. ビデオファイル名を入力し、［OK］をクリックしてビデオを保存してください。([放棄] をクリックするとビデオファイルは作成されません。)ビデオファイルと再生ファイル（*.uvh）が再生されます。[メディアライブラリ] の[ビデオ] フォルダには関連付けられたサムネイルが作成されます。



メモ:

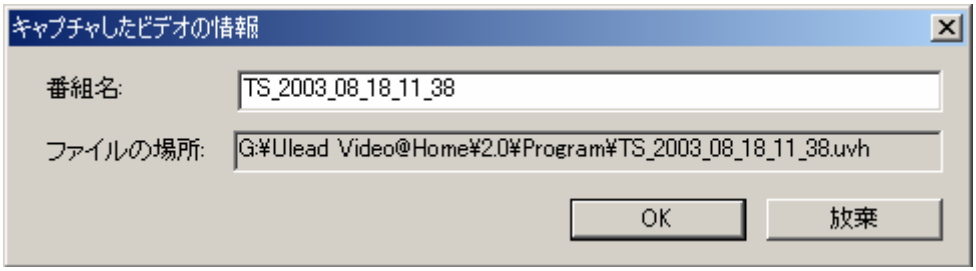
- ステップ4 は、[環境設定] で[キャプチャ後に確認メッセージを表示] オプションが選択されている場合にのみ使用することができます。

タイムシフト録画

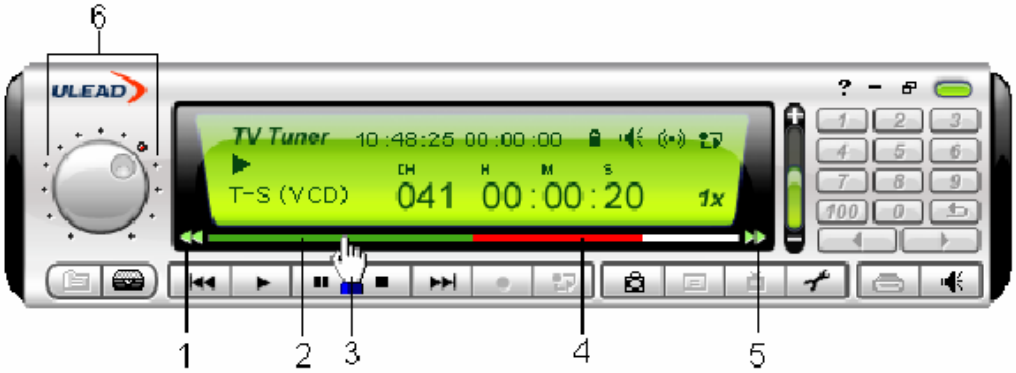
タイムシフト録画は、従来のリニア録画による制限を克服し、すでに見終わったビデオコンテンツをハードディスクに録画するようデザインされています。こうすることで、録画中、またはTV ／ビデオ鑑賞中に、録画を中断することなく、録画されたビデオコンテンツを自由にジャンプしながら鑑賞することができます。

タイムシフト録画を行うには:

1. TV/ ビデオ鑑賞中に、［タイムシフト］をクリックしてください。
2. タイムシフト録画（ハードディスクにはビデオコンテンツがバッファする十分な容量があることを確認してください。実際の録画は数秒後から開始されます。）ここでタイムシフト再生を行うには、青いタイムシフトステータスバーのいずれかのポイントをクリックし、特定の場所にジャンプしてください。または、再生速度ノッチをクリックするいか、後退/前へのジャンパーをクリックしてより迅速なナビゲーションを行うこともできます。
3. ［停止］をクリックするとタイムシフト録画を停止します。
4. ビデオファイル名を入力し、［OK］をクリックしてビデオを保存してください。([放棄] をクリックするとビデオファイルは作成されません。)ビデオファイルと再生ファイル(*.uvh) が再生されます。[メディアライブラリ] の[タイムシフト] フォルダには関連付けられたサムネイルが作成されます。



メモ:
- ステップ4 は、[環境設定] で[キャプチャ後に確認メッセージを表示] オプションが選択されている場合にのみ使用することができます。
- ビデオ形式でAVI が選択されている場合、タイムシフト録画は使用できません。



1. 後退ジャンパー
2. 青いタイムシフトステータスバー
3. マウスをタイムシフトステータスバーの上にかざすと、カーソルが手の形に変わります。これで、ステータスバーの好きな場所をクリックして、録画されたコンテンツを見ることができます。
4. 赤いタイムシフトステータスバーは、現在の録画バッファを表します。
5. 前へジャンパー
6. 再生速度ノッチ

3.8 静止画像のキャプチャ

Video@Home でTVまたはビデオの再生中、［スナップショット］をクリックして好きなシーンをスナップショットしてください。イメージはクリップボードに保存されるか、または［環境設定］に基づきスナップショットフォルダにBMPイメージファイルとして保存されます。[メディアライブラリ] の[スナップショット] フォルダにもイメージが表示されます

3.9 メディアライブラリ

メディアライブラリでは様々な機能を使ってキャプチャされたビデオやイメージファイルを簡単に管理することができます。左側の枠にある3 つのフォルダには、それぞれ標準録画、タイムシフト、スナップショット機能を使ってキャプチャされたファイルが保存されます。使用可能なファイルはサムネイルで表示されます。また、右クリックメニューも使用することができます。同時に複数ファイルを選択することが可能です。

1. 表示モード変更
2. ビデオファイルをインポート
3. イメージファイルをインポート
4. コピー
5. 貼り付け
6. 削除
7. 再生
8. 焼き込み

メモ:書き込み機能は、ビデオファイルにのみ対応しています。

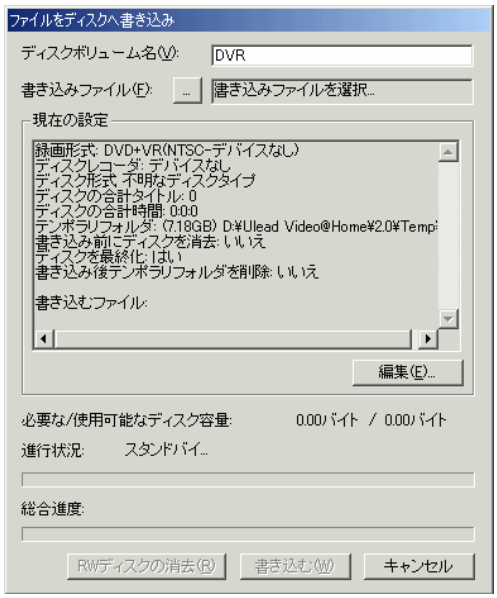
3.10 ビデオファイルをディスクに書き込む

Ulead Video@Home では、ビデオファイルを直接ディスクに書き込むことができます。
＊注）パソコンの性能によっては、直接書き込みを行うとコマ落ちする場合があります。

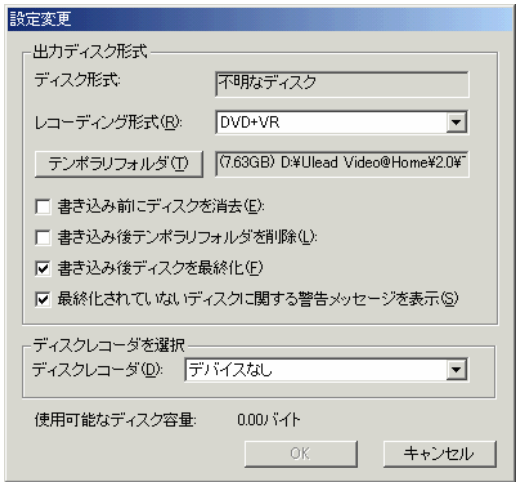
> **メモ:** このプログラムでは、静止画像ファイルを書き込むことはできません。

ビデオファイルをディスクに書き込むには:

1. メディアライブラリで書き込みを行うビデオファイルを選択し、[書き込み] をクリックしてください。または、右クリックメニューで[ファイルをディスクに書き込む] を選択し、[書き込むファイル] をクリックしてビデオファイルを選択します。



2. すべての情報が正しいかどうか確認してください。ディスク書き込みの設定を変更するには、[編集] をクリックしてください。



3. [書き込み] をクリックしてください。

4. 書き込み過程が完了したら、その他のファイルを書き込むか、または[キャンセル] をクリックして終了します。

3.11 ディスクの再編集

ハードディスクへの録画に加え、Ulead Video@Home **ではTV 番組や鑑賞中のビデオを直接ディスクに書き込む機能も提供しています。**

ディスクへ直接書き込みを行うには:

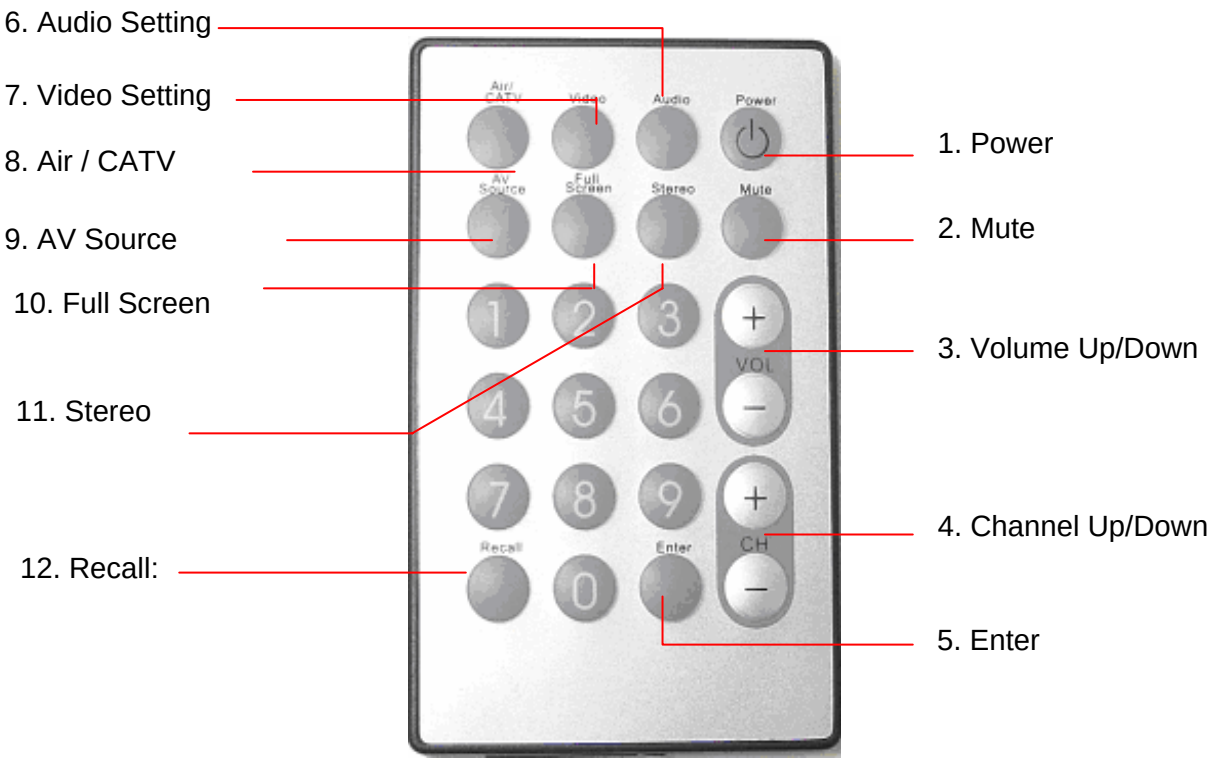
1. **[ビデオ形式] をクリックし、**VCD、SVCD、DVD **のいずれかを選択してください。**
2. **右クリックメニューで、[ディスクの再編集] を選択し、録画を開始してください。**
3. **[停止] をクリックすると録画を停止します。通常のハードディスクへの録画に戻るには、[HDD/ディスク] をクリックします。**

3.12 ショートカットキー一覧

Function	AP Shortcut Key	リモコンボタンでの操作
Source	Ctrl + C	**AV Source**
Media Library	Ctrl + G	
Start	Ctrl + S	
Play	Ctrl +Enter	
Pause	Space	
Stop	Esc	
End	Ctrl + E	
Record	Ctrl + R	
Time-Shift	Ctrl + T	
Snap Shot	Ctrl + I	**Enter**
Play list	Ctrl + P	
Video Format	Ctrl + L	
Settings	F5	
HDD/Disc	Ctrl + J	**＊DVD-RWR/+RW Media 挿入時のみ選択可)**
Mute On/Off	Ctrl + M	**Mute**
Channel Down	Down arrow key	**Channel Down**
Channel Up	Up arrow key	Channel Up
Last Viewed Channel	Left arrow key	**Recall**
Help	F1	
Minimize/Restore Control Panel	Ctrl + N	
Resize Screen	Ctrl + W	**Full Screen**
Exit	Ctrl + X	
Volume Up	+ (num keyboard)	**Volume Up**
Volume Down	- (num keyboard)	**Volume Down**
Fast Forward	Ctrl + F	
Fast Rewind	Ctrl + B	
About	Ctrl + Alt + A	
1	1 (num keyboard)	**1**
2	2 (num keyboard)	**2**
3	3 (num keyboard)	**3**
4	4 (num keyboard)	**4**
5	5 (num keyboard)	**5**
6	6 (num keyboard)	**6**
7	7 (num keyboard)	**7**
8	8 (num keyboard)	**8**
9	9 (num keyboard)	**9**
0	0 (num keyboard)	**0**
Input Type (Antenna/Cable)	Ctrl + Alt + 'I'	**Air/CATV**
Video Setting (Brightness, ...)	Ctrl + Alt + 'S'	**Video**
Audio Language (Main/SAP)	Ctrl + Alt + 'L'	**Audio　本製品はモノラル使用のため音声の切り替えは出来ません**
Audio Mode (Stereo/Mono)	Ctrl + Alt + 'M'	**Stereo　本製品はモノラル使用のため音声の切り替えは出来ません**
Auto-tune	Ctrl + 'A'	**＊TVチャンネルマネージャーを起動している時のみ。**
Power On	Shift + F1	**Power**

3.13 リモコンによる操作

※このリモコンは、Ulead Video@Homeでのみお使いいただけます。
※リモコンを初めてお使いになる前に、ボタン電池の絶縁用フィルムを取り外してください。
注意1）他のアプリケーションソフトのホットキー機能が有効になっている場合、リモコン機能の一部が正常に動作しない場合がありますので、その場合は他のアプリケーションソフトのマニュアルを参照の上、ホットキー機能を“無効”に設定してください。
注意2）リモコン操作は、Ulead Video@Homeがアクティブとなっている場合のみ機能します。ボタンを押して無動作しない場合が、TV画面上でマウスカーソルをあて、「左クリック」しUlead Video@Home　をアクティブにしてください。



1. **Power:** Ulead Video@Home **を終了します。**
2. **Mute: 一時的に消音し、もう一度押すと消音を解除します。**
3. **Volume Up/Down: 音量を増減します。**
4. **Channel Up/Down: チャンネルを前後に選択します。**
5. **Enter: 静止画のキャプチャが出来ます。**
6. **Audio: オーディオ設定を表示します。（※本製品はモノラル仕様のため、音声の切り替えは出来ません。）**
7. **Video: ビデオ設定を表示します。**
8. **Air/CATV: テレビのアンテナ入力と** CATV **入力を切り替えます。**
9. **AV Source: テレビと** AV、S **ビデオ入力のソースを切り替えます。**
10. **Full Screen: 全画面とウィンドウ表示との間を切り替えます。**
11. **Stereo: 音声多重放送のステレオ/モノ音声を切り替えます。（※本製品はモノラル仕様のため、音声の切り替えは出来ません。）**
12. **Recall: 直前に見ていたチャンネルを呼び出します。**

数字キー: チャンネル番号を直接入力して、選局できます。（100Ch **以上は** CH **の“** +、- **”）**

第４章　録画したビデオを携帯電話で楽しむ

4.1 Ulead Video Studio 7 SE DVDについて

Ulead Video Studio（ユーリード・ビデオスタジオ）7 SE DVDは、ビデオキャプチャ機能、ビデオ編集機能、DVD/ビデオCDオーサリング・ライティング機能をオールインワンで提供するビデオ編集ソフトウェアです。
ファイル変換出力機能は、AVI/MPEG-1/MPEG-2/Windows Media Videoに加えて、3G（第三世代）携帯電話用の標準動画フォーマット（MPEG-4ベース）である「3GPP」および「3GPP2」にも対応しており、PortaMedia Recorderでキャプチャした動画ファイルを3GPP/3GPP2形式で出力すれば、携帯電話端末でも楽しむことができます。
また、本格的なビデオ編集やさまざまな形式での動画ファイルの出力など、ビデオ編集ソフトとしても一通りの基本的な機能を備えています。

4.2 インストール手順

注: Windows XP Professionalでのインストールは、必ず管理者（Administrator）権限のアカウントで行ってください。

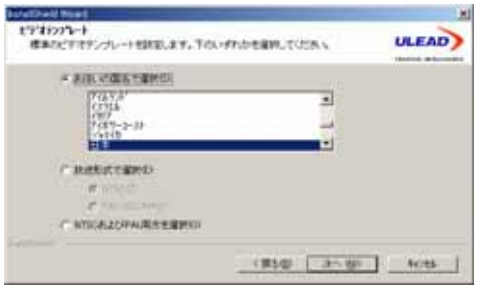
1. micro Catch TV3のインストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。左のようなメニューが起動しない場合は、CD-ROMのルートから INSTALL.EXE を起動します。
2. メニューから「Ulead Video Studio 7 SE DVDのインストール」をクリックします。

3. 左のようなウィンドウが表示されたら, [次へ]ボタンをクリックしてください。

4. 右のように使用許諾書が表示されたら、お読みになってから[はい(Y)]をクリックしてください。

5. Ulead Video Studio 7 SE DVDをインストールするフォルダを選択してください。インストールするフォルダは、プログラムによって定義されているフォルダをそのまま選択されることをお勧めします。別のフォルダにインストールするには、[選択….]ボタンをクリックし、目的の場所を選択してから[次へ>]をクリックしてください。

6. スタートメニューに表示されるフォルダの名前を確認した後、ファイルのコピーを開始するには[次へ>]ボタンをクリックしてください。



7. 通常は「日本」を選択してから[次へ>]をクリックしてください。

8. 内容を確認してから[次へ>]をクリックしてください。

9. QuickTimeランタイムのインストール、Readmeファイルの表示（最新情報）、ユーリードシステムズ社へのオンラインユーザー登録を行うかどうかのオプションを設定します。内容を確認してから[次へ>]をクリックしてください。

※ QuickTimeのインストールを選択した場合、この後で引き続きQuickTimeのインストールが行われます。メッセージに従って完了メッセージが出るまでインストールを続けてください。また、Windows Media Runtimeのインストールも自動的に行われます。

10. ファイルがすべてコピーされ終わると、下のようにインストールが終了したことを知らせるダイアログボックスが表示されます。インストールを完了するには[終了]ボタンをクリックしてください。

※ アンインストールはコントロールパネルの[プログラム

の追加と削除（アプリケーションの追加と削除）]から行ってください。

4.3 注意事項

Ulead Video Studio 7 SE DVDをmcro Catch TV3でお使いいただく場合の注意点です。

- **micro Catch TV3のパッケージには、Ulead Video Studio 7 SE DVDの印刷されたマニュアルは含まれておりません。マニュアルは**Ulead Video Studio 7 SE DVD**本体とともに、スタートメニューの**[**プログラム**]-[Ulead Video Studio 7]-[**ユーザーズガイド**]に**Adobe PDF**ファイル形式でインストールされます。**
  PDF**ファイルを閲覧できるプログラムがインストールされていない環境では、**micro Catch TV3**のインストールメニューから**Adobe Reader 6.0**をインストールすることで閲覧が可能となります。**
- micro Catch TV3**では**Ulead Video Studio 7 SE DVD**のビデオキャプチャ機能はお使いいただけません。**
- Ulead Video Studio 7 SE DVD**のユーザーサポート窓口は、開発元のユーリードシステムズ株式会社となります。詳しくは本書第**5**章をご参照ください。**

4.4 ケータイで動画を楽しむ

Ulead Video Studio 7 SE DVD**を使うと、**micro Catch TV3**の録画ソフトで録画した動画ファイルから、第三世代（**3G**）携帯電話で再生可能な動画ファイルを作成することができます。**
ここでは、3G**携帯電話用の動画形式（**3GPP**、**3GPP2**）についての解説と、**Ulead Video @ Home2**などで録画したファイルを、**Ulead Video Studio 7 SE DVD**を使って**3GPP**、**3GPP2**ファイルに変換する手順を、簡単にご紹介します。**

4.4.1 3GPP/3GPP2とは

動画圧縮技術「MPEG-4**」をベースに、**3G**携帯電話のデータ帯域幅（**64K**～**384Kbps**）に最適化して策定された動画フォーマットです。**

3GPP: W-CDMA**方式**3G**携帯電話の標準化団体である「**3GPP (3rd Generation Partnership Project)**」によって策定された動画フォーマットです。**W-CDMA**方式は、日本では**NTT**ドコモグループの「FOMA」、ボーダフォンの「Vodafone Global Standard」に採用されています。**

3GPP2: CDMA2000 1X（CDMA 2000 1X EV-DO=CDMA 1X WIN**を含む）方式**3G**携帯電話の標準化団体である「**3GPP2 (3rd Generation Partnership Project 2)**」によって策定された動画フォーマットです。**CDMA2000 1X**方式は、日本では**KDDI (au) **の「CDMA 1X」「CDMA 1X WIN」に採用されています。**

両フォーマットはいずれもMPEG-4**をベースとしており、推奨されているビットレートや、その結果得られるファイルサイズなどもほとんど同一ですが、ファイル形式には互換性がないため、お使いの携帯電話端末の仕様に合わせたファイル形式を選択する必要があります。**

4.4.2 3GPP/3GPP2ファイルの出力手順

ここでは、Ulead Video Studio 7 SE DVDを使った3GPP/3GPP2ファイルの出力手順を、順を追って簡単にご紹介します。詳細な使い方は、PDF版のユーザーマニュアルを参照してください。

1. まず、Ulead Video Studio 7 SE DVDを起動します。

2. 「編集」ステップを選択してください。

3. 画面右上のライブラリにファイルを登録します。

4. ライブラリからストーリーボードにファイルをドラッグ＆ドロップで登録します。

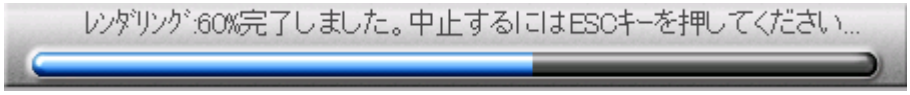
5. 必要に応じて、出力範囲の指定（マークイン、マークアウト）を行います（マークイン、マークアウトなどの詳しい手順は、Ulead Video Studio 7 SE DVDのオンラインヘルプやマニュアルをご参照ください）。

６.「完了」ステップを選択します。

７.続いて「ビデオファイルの作成」をクリックします。各種のテンプレートが表示されますので、目的に合ったものを選択してください。

８.「ビデオファイルを作成」ダイアログボックスが開きますので、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。ファイル名を指定しない場合は「名称未設定」となります。

９.変換が実行されます。



１０.　変換が完了したファイルは、ライブラリに登録されます。変換されたファイルは特に指定しない限り、元ファイルと同じ場所に出力されています。

変換が完了したファイルをパソコンで再生するには、Ulead Video Studio 7 SE DVD**のインストールされているパソコン上では、**Windows Media Player**で[ファイル]-[開く]から、ファイルの種類に「すべてのファイル** (*.*)**」を指定して目的のファイルを選択し、開くことで再生が可能です。**

Ulead Video Studio 7 SE DVD**のインストールされていないパソコンで**3GPP/3GPP2**動画を再生するには、**Apple QuickTime 6.5**以降をインストールする必要があります。**
最新のQuickTime**は、以下の場所からダウンロードできます。**
http://www.apple.co.jp/quicktime/download/index.html

4.4.3 ケータイでのビデオ再生についての情報

携帯電話端末における動画再生機能についての、一般的な情報（2003年12月末現在）です。

- 携帯電話端末本体に搭載されているメモリ容量には限りがあり、メールで受信可能なサイズは100～150KB、端末本体でダウンロード可能なファイルの最大容量も、一般に240～300KB程度に制限されています。また、2G携帯電話では動画のダウンロードはできません。
  長時間の動画を楽しむには、外部メモリ（SD、miniSD、メモリースティックDuoなど）の使える機種をおすすめします。なお、パソコン上から動画ファイルを外部メモリ経由で書き込む場合、メモリリーダー／ライターなどの機器が必要となります。
- 外部メモリを搭載していても、動画ファイル1本あたりの容量に制限のある機種があります。このような場合はUlead Video ToolBoxで出力結果が制限内のサイズに収まるようにビットレートなどを適宜調整した上で、トリミング＆カットしながら複数のファイルに分割して出力することをおすすめします。
- 外部メモリに動画を転送して携帯電話端末で再生する際、機種によってはファイル名やに一定のルールが定められていたり、多くのau端末のように外部メモリ上の「PCフォルダ」をいったん経由させないと端末で認識しなかったりします。そうした機種では単にファイルを外部メモリに書き込んだだけでは再生はできません。
  まずはお使いの端末の取扱説明書をお読みになってください。取扱説明書にファイル名の規定や転送方法についての記載がない場合は、次のような手順で確認の上、動画ファイルを転送してみてください。
  1. カメラ動画撮影機能などを用いて、外部メモリに保存する設定で撮影する。
  2. メモリリーダー／ライターなどを用いて、撮影されたファイルの存在するフォルダをパソコン上で確認する。
  3. Video ToolBoxで出力した3GPP（または3GPP2）動画ファイルを、撮影済みのファイル名と同一の名前に変更し、上書きする。
     またはファイル名主部の末尾が数字の場合は、連番で書き込んでみる。（例: 撮影済みファイルがMOL001.3GPなら、Video ToolBoxで出力したファイルの名前をMOL002.3GPに変更してから書き込む）

- FOMA（NTTドコモグループ）のうち、ASFフォーマットのiモーション（動画）にのみ対応している初期の機種では、3GPP動画の再生はできません。3GPPに対応しているのは、N2051/F2051/P2102V/N2701/F2102V/N2102V、および900iシリーズとなります。
- Vodafone Global Standard（ボーダフォン）のうち、3GPP動画の再生に対応しているのはV801SA以降の機種となります。また、ボーダフォンの2G（第二世代＝PDC方式）端末のうち、J-SH53、V601SHなどMPEG-4形式のムービー写メールに対応した機種でも、3GPP動画の再生が可能です。
- auのCDMA 1X WIN対応機（W11H、W11Kなど）では、3GPP2・3GPPともに再生が可能です。ただし、それぞれファイル1本あたり最大3MB、1.5MBの制限があります。
- au端末で3GPP2の再生が可能なのは、基本的にCDMA 1X WIN対応機となります。CDMA 1X機では2003年12月末現在、A5501Tのみです。AMC形式のEZムービーにのみ対応した機種では再生できません。

なお、携帯電話端末での動画再生機能についての情報や、再生確認用の3GPP/3GPP2のサンプル動画ファイルを、弊社のホームページで提供しています。
http://www.novac.co.jp/products/hardware/nv-pt/keitai/（パソコン用情報ページ）
http://www.novac.co.jp/k/（携帯電話用ページ、サンプルファイルのみ）

第５章　その他のバンドルソフト

5.1 バンドルソフトとインストールについて

Ulead Video Studio 7 SE DVD：ビデオキャプチャ機能、ビデオ編集機能、DVD/ビデオCDオーサリング・ライティング機能をオールインワンで提供するビデオ編集ソフトウェア

インストールは、CD-ROMに含まれるインストールメニュー（右図）から可能です。それぞれの項目をクリックするとインストールが可能です。メッセージに従ってインストールを行ってください。

この章で紹介しているソフトウェアについては、インストール手順において、シリアル番号などの入力は不要です。

なお、**本製品にはこの章で紹介しているソフトウェアの印刷されたマニュアルは同梱されていません。Ulead Video Studio 7 SE DVD、については、ソフトウェアとともにAdobe PDF形式のマニュアルがインストールされますので、そちらをご参照ください。**
PDF形式のファイルを閲覧できるソフトウェアをお持ちでない場合は、上図のメニューからAdobe Readerをインストールすることで、ご覧いただけるようになります。

5.2 micro CATCH TV 3での特記事項

- micro CATCH TV 3**ではUlead Video Studio 7 SE DVDのビデオキャプチャ機能はお使いいただけません。**

5.3 サポートについて

Ulead Video @ Home 2 / Ulead Video Studio 7 SE DVD、のサポート窓口は、以下の通りです。

Ulead Video @ Home 2 / Video Studio 7 SE DVDのサポートについて

Ulead Video @ Home 2 および　Ulead Video Studio 7 SE DVDについてのお問い合わせは下記へご連絡ください。

■ **インターネット**

http://www.ulead.co.jp/

ユーリードシステムズのホームページの「サポート」にFAQ、トラブルシューティング、アップデーターダウンロードなどをご用意しております。こちらをご覧いただくことで解決できることも多々ありますので、ご一読ください。

■ **電子メール**

電子メールでのお問い合わせは、お使いのメールソフトなどからご送信いただく形式ではなく、ユーリードシステムズのホームページ上からアクセスできる「メール送信フォーム」からお送りいただくようになっております。トップページやFAQページなどからアクセスしていただくと、必要事項とお問い合わせ内容を記入していただく入力欄が表示されます。そちらにご記入いただき、送信してお問い合わせください。

※ 電子メールでのお問い合わせの場合、基本的に1両日中（土・日、祝、年末年始を除く）にご返答しておりますが、内容や難易度により2,3日お時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

■ **サポート電話**

03-5491-5662

受付時間: 月曜日から金曜日（土・日、祝、年末年始を除く）

10時から12時、13時から17時

※ 電話がかかりにくい場合は、インターネットでお問い合わせください。

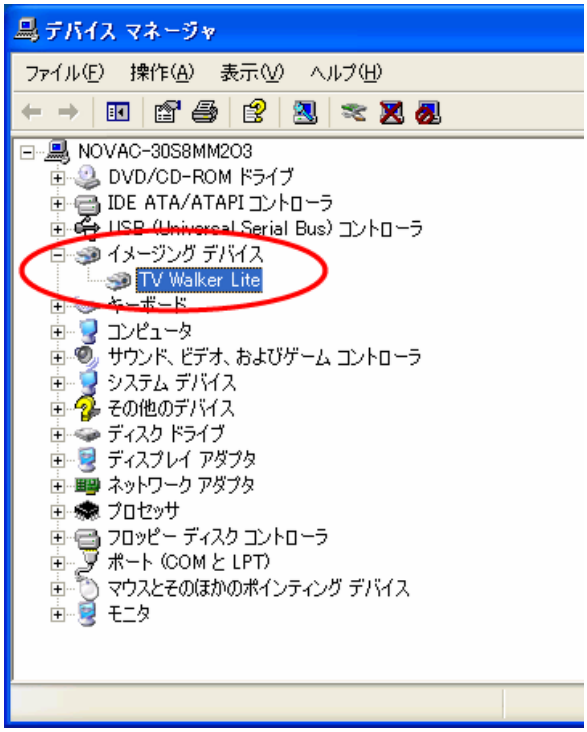
■ **お問い合わせ用シリアル番号**: Video @ Homeでは-TV画面上で右クリックから、[バージョン情報]、 Video Studioでは[ファイル] – [Ulead Video Studioについて]を開くと表示されます。

第 6 章　Q&A

Q: Ulead Video@Home2を起動すると、「システムにビデオキャプチャドライバがインストールされていないか、またはデバイスが接続されていません。」というメッセージが出てしてしまいます。

A: まず、micro CATCH TV 3が、お使いのパソコンのUSB端子に正常に取り付けられているかどうかを確認してみてください。しっかり取り付けたつもりでも、緩んでいたりすると正常に動作しないことがあります。
次に、micro CATCH TV 3のドライバが正常に組み込まれているかどうかをご確認ください。次の手順で、ドライバが正常に組み込まれているかどうかが確認できます。

1) [マイ コンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。または、[スタート]メニュー – [コントロール パネル] – [システム] の順に選択します。
2) [システムのプロパティ]というウィンドウが開きますので、 [ハードウェア]タブを選んで[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。
3) 右のような画面が開きますので、「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」を選択し、[+]をクリックしてください。
4) 「イメージングデバイス」の分類で組み込まれているドライバの一覧が表示されます。ここで『TV Walker Lite』が組み込まれていれば正常です。



Q: Ulead Video @ Home2を起動するとエラーになったり、画面が反転したり、動画ファイルの再生ができなかったりします。

A: micro CATCH TV 3はほとんどのVGA(ビデオカード、またはパソコンに内蔵のVGA機能)との組み合わせでお使いになれますが、お使いのVGAによっては、まれに特定の解像度や色数において正常に表示が行われなかったり、エラーが起きてプログラムが起動できなくなったりすることがあります。
とくに、ビデオメモリ(VGA用のメモリ)とメインメモリ(プログラムの実行に使われるメモリ)を共有するタイプのVGA機能を搭載したパソコンでは、こうした現象が比較的現れやすいようです。
このような場合は、

1) 解像度を下げてみる(例: 1280×1024ドットで使用している場合は1024×768ドット以下に)
2) 色数を減らすか、または増やしてみる
3) VGAのドライバ(ディスプレイドライバ)をバージョンアップしてみる

といった操作によって、正常に動作するようになることがあります。

VGAの解像度や色数の設定は、Windowsのデスクトップ上のアイコンとウィンドウ以外の部分をマウスで右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択して[画面のプロパティ]を開

き、さらにそこから[設定]を選択することで可能になります。また、機種によっては独自の解像度/色数設定用ユーティリティが提供されていることもあります。

ディスプレイドライバをバージョンアップする手順については、お使いのビデオカードやパソコンの取扱説明書などをご参照ください。

Q: テレビの映りが悪かったり、画面にノイズが目立ったりします。

A: アンテナ端子にF型接栓でアンテナケーブル (またはCATVケーブル) がしっかり接続されているか (緩んでいないか) どうかを確認してください。なお、アンテナケーブルはフィーダー線(300Ω)ではなく、被覆が厚くて外来ノイズに強い同軸ケーブル5C (75Ω)の使用をお勧めします。
弱電界(電波の弱い地域)や、１本のアンテナに数多くのテレビ・ビデオデッキなどを接続している場合は、アンテナとmicro CATCH TV 3のアンテナ端子の間にビデオブースター(電波増幅器)を通過させると改善されることがあります。なお、ビデオブースターは家電店などでお求めになれます。
また、これはmicro CATCH TV 3に限らず、テレビ受像機器についての一般的な注意点ですが、画面にゴースト(影)が目立つ場合は、アンテナが送信所の方向に正しく向けられて設置されているかどうかを確認してください。

Q: レンタルビデオ店で借りてきたビデオテープを、micro CATCH TV 3に接続したビデオデッキを通じてキャプチャを試みましたが、画面の明るさが変わってうまくキャプチャができません。

A: これは「マクロビジョン」というコピーガード（複製防止）機能の動作によって発生する現象です。市販やレンタル用のホームビデオ、DVD-Videoタイトルの多くはマクロビジョン信号を含んでおり、micro CATCH TV 3はマクロビジョン信号に反応して画面の明度を変化させることにより、実用的なビデオキャプチャを不可能にするコピーガード機能を備えています。よって、マクロビジョンを含む市販・レンタル用ビデオタイトルからのコピーはできません。
なお、マクロビジョンを含むコピーガードを権利者に無断で無効にすることは、日本では1999年10月に改正施行された著作権法によって禁じられています。

Q: CATV環境で、受信ができません。

A: CATVの放送方式は2種類あります。
１）市販のTVやビデオの内蔵CATVチューナーで受信が可能なもの
２）CATV放送局が提供している専用チューナーでのみ受信が可能なもの
※ 専用チューナは一般的にはホームターミナルやセットトップボックスとも呼ばれます。

本製品で受信が可能なCATVは１）の方式のみです。専用のチューナーが必要な２）の方式によるCATV放送を受信することはできません。
２）のような場合は、CATV局から提供されている専用チューナのビデオ出力端子と本製品のビデオ入力端子をビデオ映像ケーブルにて 接続していただくこととなります。この際、本製品のチャンネルは「外部入力」を選択してください。
従いまして、CATVのチャンネル操作は専用チューナ側で行なっていただく必要があります。

※ご契約のCATVがいずれの方式であるかは、ご契約のCATV局へお問い合わせください。
また、ご利用の家庭用テレビやビデオなどがCATV対応チューナを内蔵している場合、その家庭用テレビやビデオにCATVのアンテナ線を接続し、視聴が可能ならば、ほとんどの場合、本製品でも視聴可能です。

製品保証／ユーザーサポートについて

保証書

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票（レシート）を必ず一緒に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になって調べてください。

それでも具合の悪い場合はサービスへ

ノバックサポートセンターあるいはお買い上げ店にご相談ください。

修理をお申込の場合は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本製品およびマニュアルに対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所　：　〒113-0033　東京都文京区本郷3-38-1 本郷イシワタビル5F
株式会社ノバック　サポートセンター
サポート専用電話　：　（03）3817－0938
受付時間　：　月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）
AM10:00～PM12:00　PM1:00～PM5:00
e-mail　：　users@novac.co.jp

＊ バンドルソフトウェア（Ulead製品の取り扱い、障害について）のサポート窓口は異なります。詳しくは本マニュアル第5.3章をご参照ください。

＊ 必ずユーザー登録（Webサイトからのオンライン手続き）をお願いします。ご登録いただけないとユーザーサポートをご提供できない場合がありますので、手続きをお願いいたします。

ユーザー登録サイト: http://www.novac.co.jp/signup/

＊ お問い合わせに先立ち、まずこのマニュアルをもう一度ご覧になってください。また弊社のWebサイト (ホームページ) にアクセスしていただくと、製品の最新情報やFAQなどがご覧いただけますので、ご利用ください。

株式会社ノバック WebサイトURL: http://www.novac.co.jp/

＊ お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えください (下記のお問い合わせ項目表をご参照ください) 。

＊ 電話がかかりにくい場合は、e-mailでお問い合わせください。

＊ e-mailでのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせて頂きます。

＊ e-mailや電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただければ幸いです。

ユーザーサポートへのお問い合わせにあたっては、次の各項目を事前にご確認いただき、e-mail**または電話にてお問い合わせください。**

●お問い合わせのノバック製品情報	
製品名	**micro CATCH TV 3**
型番	**NV-UT202**
シリアル番号	
ご購入日（だいたいでも構いません）	
●お客様の情報	
お名前	
ご連絡先	
●ご使用環境	
パソコン (またはマザーボード) の メーカー・製品名	
型番	
OS	
CPU	
メモリ容量	
併用しているビデオ関連周辺機器	
併用しているAVI CODEC	
●お問い合わせの内容（できるだけ詳しく教えてください）	
例えば、どんな操作をして、どんな症状が起こるかなど…	

ハードウェア製造元: Animation Technologies, Inc.(**台湾**)
発売元: **株式会社ノバック**